

令和 7 年 度

船舶事業概要



鹿児島市船舶局

目 次

第1章 総説

1 概況及び基本方針	1
2 経営の基本	3
3 令和7年度予算概要	4
4 組織・人事	
① 組織図（令和7年4月1日）	5
② 事務分掌	6
③ 年度別職員数	9
④ 年齢別・職種別職員構成表	9
⑤ 職種別・平均年齢・平均給料等比較	10
5 運賃・料金制度	
① 一般旅客定期航路に係る運賃	11
② 旅客不定期航路に係る料金	13
③ その他（桜島フェリーオリジナルグッズ等について）	14
6 時刻表	15

第2章 施設等

1 施設	
① 船舶一覧	16
② 桜島港側陸上施設	17
③ 鹿児島港側陸上施設	18
2 基準航路	
① 桜島～鹿児島航路（一般旅客定期航路）	19
② 鹿児島湾内周遊航路（旅客不定期航路）	20

第3章 業務

1 業務量の推移表（令和2年～令和6年度）	26
2 旅客業務実績（令和6年度 月別）	27
3 車両業務実績（令和6年度 月別）	28
3-② 車両実績対前年度比較（車種区分別）	29
3-③ 車両実績対前年度比較（売上区分別）	30
【参考】年度別車両輸送台数（航海日誌から）	31
4 手荷物・小荷物業務実績（令和6年度 月別）	32
5 販売実績	
① クーポン	33
② コンビニエンスストアチケット	33
③ 後納券	33
④ 定期券	34
6 遊覧船運航実績の推移	
① 納涼船	35
② 貸切船	35
③ 錦江湾魅力再発見クルーズ	35
7 よりみちクルーズ船運航実績の推移	35
8 船舶の定期検査及び中間検査	
（1）検査の内容	36
（2）定期検査の時期	38

第4章 財務

1 令和6年度 船舶事業の決算概況	39
2 損益勘定収支推移（税抜）	40
3 資本勘定収支推移（税込）	42
4 損益計算比較	43
5 費用構成比較	44
【参考】A重油購入価格の推移	45
6 貸借対照表比較	46
7 企業経営分析表	52
8 企業債明細書	53

第5章 沿革

1 桜島フェリーのあゆみ	54
2 運賃の推移	69

第 1 章 総 説

1 概況及び基本方針

(1) 現状と課題

船舶事業は、旧桜島町で運営していた交通事業（桜島フェリー）を引き継ぎ、平成16年11月1日に、本市の第4番目の公営企業として事業を開始しました。

昭和9年に、旧西桜島村の村民の生活航路・通学航路として船舶事業を開始して以来、桜島地域と市街地のみならず、薩摩・大隅両半島を結ぶ海上交通機関として重要な役割・使命を担い、現在では、年間乗客372万人、航送車両95万台の輸送を行っています。

この間、桜島港フェリーターミナルやフェリー乗降施設及び接岸施設の整備並びに船舶の大型化を図り、現在、船舶4隻で、平日51航海（102便）、土日祝日56航海（112便）の24時間運航をしています。桜島フェリーは、本市における総合的な交通体系の中に位置づけられるとともに、鹿児島が世界に誇る観光資源である桜島へのアクセスとして、観光振興や地域の活性化に大きく寄与する一方、災害発生時の救難船舶としての役割も果たしているところです。

船舶事業の経営については、近年の桜島・大隅地域の人口減少や東九州自動車道の延伸等の影響を受け、利用者の減少が続き厳しい状況が続いていたことから、令和元年度に運賃改定を行いました。令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、輸送量が大幅に減少し収益が大きく落ち込み、大幅な純損失となりました。令和4年度は、輸送量及び収益において一定の回復はみられたものの、依然としてコロナ前の水準には達しておらず、極めて厳しい経営状況が続いています。

このような中、将来にわたり効率的で持続可能な経営の実現を目指すため、令和4年度を初年度とする第2期船舶事業経営計画に基づき、令和5年度は、運航体制を5隻から4隻に見直し、効率的な運航ダイヤへ改定を行い、6年度は、経営の健全化を図り、持続的な事業運営を推進するため、運賃等改定を行いました。

7年度は、海外直行便の再開や仙巖園駅の開業など国内外からの観光客の増加が見込まれることから、九州MaaSを活用したデジタルチケットの造成や関係部局等と連携し桜島への島内誘客に係る企画等を検討するなど、桜島フェリーを積極的にPRすることによる定期航路の利用促進のほか、観光部局等と連携した県外教育機関や旅行代理店等への積極的な営業活動の展開による修学旅行やコンベンション等での貸切船の活用など増収対策に取り組めます。今後も引き続き、効率的で持続可能な事業運営に努めてまいります。

(2) 基本的方向

船舶事業の運営にあたっては、乗客の利用の動向や実態などを的確に把握し、船舶及び施設のバリアフリー化を推進するとともに、陸上交通機関との連携を図るなど乗客の利便性の向上に努めます。

また、すべての人が利用しやすい乗り物として、船舶・施設・設備等の整備を進め、公共交通機関として安全運航に努めるとともに、乗客が快適に乗船できるよう積極的な取り組みを進めます。

船舶事業は、経費の削減や業務の効率化など経営の健全化に努め、公営の海上交通機関として、その役割と機能の強化を図ります。

(3) 経営理念

本市船舶事業は、『安全で快適な運航、効率的で持続可能な事業運営』を経営理念に、新たな課題等に的確に対応し、船舶事業の特性や公営企業のあるべき姿を踏まえながら、多様な手法により、限られた資源を最大限効率的に活用し、現在のみならず将来にわたって、船舶事業を健全に運営していくこととします。

また、この理念を実現するために、5つの基本目標を掲げるとともに、その目標を確実に実現するため、11の重点取組項目を定め、着実に実行していきます。

(4) 基本目標・重点取組項目

基本目標	重点取組項目
1 安全運航の推進	(1) 安全運航の推進 (2) 緊急事態への対応強化
2 効率的で持続可能な経営の実現	(1) 経営環境の変化への柔軟な対応 (2) 事業継続のための財源確保 (3) 徹底した経費削減
3 乗客サービスの向上	(1) 快適な運航サービスの提供 (2) 交流人口の拡大に向けた関係機関との連携 (3) 桜島港フェリーターミナルのにぎわい創出 (4) 魅力発信の充実
4 地域防災対策の強化	(1) 桜島の大規模噴火対策など地域防災への対応
5 環境にやさしい施策の推進	(1) 環境保全活動の推進

2 経営の基本

(1) 設置

市民の海上交通を確保するとともに、福祉の向上に資するため、船舶事業を設置し、企業の経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するように運営するものとします。

(2) 事業（創業 昭和9年12月1日）

①事業区域 鹿児島湾内の平水区域

②事業航路 ア 一般旅客定期航路 桜島～鹿児島航路

イ 旅客不定期航路 鹿児島湾内

③事業用船舶の数 6隻以内

3 令和7年度予算概要

○主な予算内容

(1) 桜島港フェリーターミナルコミュニティスペース等整備事業

コミュニティスペースに展示コーナー等を設置するほか、イベント広場において、民間事業者等によるイベントを開催するなど、フェリーターミナルのにぎわい創出や桜島地域の活性化を図る。

(2) 船舶局WAN再整備事業

WAN端末のリース満了に伴い、モバイル端末を導入する。

(3) サスティナ傘事業

忘れ物・落とし物の傘を活用し、フェリー利用者がターミナル近辺の施設等へ移動する際に利用できる置き傘とすることで、資源の有効活用や利用者の利便性向上を図る。

(4) 桜島フェリーPR・利用促進事業

桜島フェリーの積極的なPRや観光部局等と連携したプロモーションを行うなど、観光客等の利用促進を図る。

(5) 遊覧船運航事業

四季折々の錦江湾を楽しめる貸切船や夜の体験型観光コンテンツ「錦江湾ナイトクルーズ」、修学旅行向けSDGs探求学習プログラム「桜島・錦江湾体感クルーズ」を運航するとともに、クルーズ船の受入れ体制強化のためマリポートかごしまからの二次交通の取組を推進する。

(6) 桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業

船舶乗降施設等の長寿命化及びライフサイクルコストの削減を図るため、航路附属施設長寿命化計画に基づき整備を行う。

(7) 桜島フェリー緊急対応訓練事業

桜島の大噴火に備え、避難港での住民救助を想定した船舶離着岸訓練を実施するとともに、緊急事態を想定した訓練を実施し、安全かつ迅速な避難作業等を行うため職員の的確な対応能力及び危機管理意識の向上を図る。

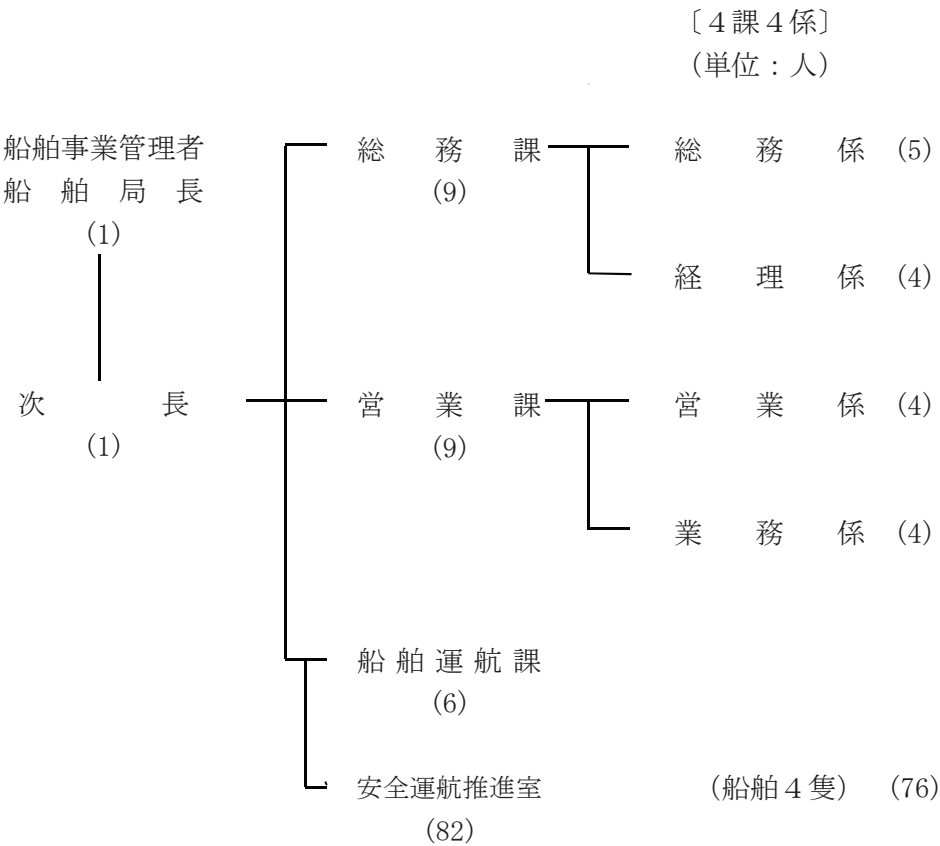
○ 収支予算書

(単位：千円)

区 分			予 算
損益勘定	収 入	営 業 収 益	2,453,322
		営 業 外 収 益	348,144
		特 別 利 益	71,793
		収 益 合 計 (税 込) (A)	2,873,259
	支 出	営 業 費 用	2,853,368
		営 業 外 費 用	148,879
		予 備 費	10,000
		費 用 合 計 (税 込) (B)	3,012,247
	収 支 差 引 (A) - (B)		△ 138,988
	純 損 益 (税 抜)		△ 125,999 (C)
資本勘定	収 入	補 助 金	229,050
		収入計(税込) (D)	229,050
	支 出	企業債償還金	440,874
		船舶建造年賦支払金	31,879
	支出計(税込) (E)		472,753
資金収支	資本的収支不足額 (D) - (E)		△ 243,703 (F)
	損益勘定留保資金等		219,996 (G)
	交通事業債(経営改善推進事業)		133,200 (H)
	令和6年度末資金残		16,514 (I)
	令和7年度末資金残予定		8 (C) + (F) + (G) + (H) + (I)

4 組織・人事

① 組織図（令和7年4月1日）



〔内訳〕

次長	(1)	船長（主幹）	(7)
課(室)長	(3)	機関長（主幹）	(7)
主幹	(4)	船長	(9)
係長	(3)	機関長	(8)
専門員	(2)	甲板長	(19)
主査	(2)	操機長	(4)
主任	(5)	甲板員	(18)
主事	(8)	機関員	(7)
一般職 計 (28)		船 員 計 (79)	

総職員数 107人（管理者、再任用職員（短時間）、会計年度任用職員、休職者は含まない。）

② 事務分掌

総務課

総務係

- (1) 局及び課に属する庶務並びに局内事務の連絡調整に関すること。
- (2) 経営の基本方針に関すること。
- (3) 総合的な企画及び調整に関すること。
- (4) 事務事業の総合的な進行管理に関すること。
- (5) 運賃及び料金制度の企画及び研究に関すること。
- (6) 経営に係る情報の収集及び分析に関すること。
- (7) 条例、規則及び規程に関すること。
- (8) 議案及び議会に提出する書類に関すること。
- (9) 公印に関すること。
- (10) 文書の審査に関すること。
- (11) 文書の収発、整理及び図書の保管に関すること。
- (12) 情報公開制度の総括に関すること。
- (13) 公告式に関すること。
- (14) 広報及び公聴に関すること。
- (15) 人事、服務、研修及び表彰に関すること。
- (16) 事務管理に関すること。
- (17) 労働組合に関すること。
- (18) 労働安全及び衛生に関すること。
- (19) 公務災害補償に関すること。
- (20) 給与及び児童手当に関すること。
- (21) 鹿児島県市町村職員共済組合及び職員厚生会に関すること。
- (22) 職員の福利厚生に関すること。
- (23) 職員の被服貸与に関すること。
- (24) 会計年度任用職員等の雇用及び管理に関すること。
- (25) 電算の管理運営に関すること。
- (26) 経営審議会に関すること。
- (27) 船舶モニターに関すること。
- (28) 課に属する自動車の管理に関すること。
- (29) 係の予算経理に関すること。
- (30) 他の所管に属しないこと。

経理係

- (1) 財政計画及び資金計画に関すること。
- (2) 企業経理に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 企業債及び借入金に関すること。
- (5) 金銭出納に関すること。

- (6) 預り金の出納及び有価証券の保管に関すること。
- (7) 資金運用に関すること。
- (8) 出納取扱金融機関に関すること。
- (9) 固定資産の総合調整に関すること。
- (10) 固定資産の取得、管理及び処分並びに再評価に関すること。
- (11) 貯蔵品の出納及び保管に関すること。
- (12) 建物の新改築及び補修に関すること。
- (13) 庁舎等の守警及び清潔保持並びに防災施設等に関すること。
- (14) 工事の請負契約等に関すること。
- (15) 物品、資材等の購入及び修繕その他契約に関すること。（営業課営業係の所管に係るものを除く。）
- (16) 不用品の処分に関すること。
- (17) 電話その他一般通信に関すること。
- (18) 局に属する自動車の総括管理に関すること。
- (19) 係の予算経理に関すること。

営業課

営業係

- (1) 乗船券販売に係る営業に関すること。
- (2) フェリー利用者の企画誘致及び広告宣伝等の営業に関すること。
- (3) 貸切船等業務に係る企画誘致及び営業に関すること。
- (4) 航送運賃後納契約及び貸切船に係る契約の締結に関すること。
- (5) 船舶及びその他の施設の広告に関すること。
- (6) 増収対策及び乗客サービスの総括に関すること。
- (7) 無料乗船券に関すること。
- (8) 営業活動に関する情報収集及び分析に関すること。
- (9) 貨客の流動状況調査に関すること。
- (10) 課に属する自動車の管理に関すること。
- (11) 公印の保管に関すること。
- (12) 課に属する庶務に関すること。
- (13) 係の予算経理に関すること。
- (14) その他営業に関すること。（他の課に属するものを除く。）

業務係

- (1) 乗船券の発売並びに料金の収受及び納入に関すること。
- (2) 乗船券の出納及び保管に関すること。
- (3) 乗船料の後払請求及び精算事務に関すること。
- (4) 貨客輸送の統計に関すること。
- (5) 陸上における貨客の乗降、整理、誘導等の諸作業に関すること。
- (6) 構内の管理に関すること。
- (7) 船舶乗船の予約に関すること。

- (8) 事故防止及び事故処理に関すること。
- (9) 乗客の接遇、相談及び苦情処理に関すること。
- (10) 遺失物に関すること。
- (11) 鹿児島港乗船券発売所に関すること。
- (12) 係の予算経理に関すること。

船舶運航課

- (1) 施設整備（船舶及び関連施設を含む。）の総合的な企画及び調整に関すること。
- (2) 船舶に関する諸資料の収集（安全運航推進室に係るものを除く。）に関すること。
- (3) 船舶の管理、整備及び保全（安全運航推進室に係るものを除く。）に関すること。
- (4) 船舶整備用資材の使用及び管理指導（安全運航推進室に係るものを除く。）に関する
こと。
- (5) 人道橋、可動橋及び接岸施設等船舶の運航に関連する陸上施設の操作、点検、整備及
び保全に関すること。
- (6) 無線電話の管理に関すること。
- (7) その他船舶運航施設の保全に関すること。
- (8) 海難及び船上事故の示談に関すること。
- (9) 課に属する自動車の管理に関すること。
- (10) 公印（安全運航推進室に係るものを含む。）の保管に関すること。
- (11) 課に属する庶務（安全運航推進室に係るものを含む。）に関すること。
- (12) 課の予算経理（安全運航推進室に係るものを含む。）に関すること。
- (13) その他運航管理（安全運航推進室に係るものを除く。）に関すること。

安全運航推進室

- (1) 運航計画の策定及び運航管理に関すること。
- (2) 運航及び配船並びに配乗に関すること。
- (3) 船舶事業に係る許認可業務等に関すること。
- (4) 船舶運航に関する統計及び報告に関すること。
- (5) 船舶及び運航に関連する対外事務に関すること。
- (6) 海難及び船上事故の防止及び処理に関すること。
- (7) 船員の服務管理に関すること。
- (8) 船員の研修の企画及び実施に関すること。
- (9) 船舶に関する諸資料の収集に関すること。
- (10) 船舶の管理、整備及び保全に関すること。
- (11) 船舶整備用資材の使用及び管理指導に関すること。
- (12) 給油に関すること。
- (13) 気象関係資料の収集に関すること。
- (14) 作業船の操作、点検及び管理に関すること。
- (15) 安全管理マニュアルの総括に関すること。
- (16) その他運航管理に関すること。

③ 年度別職員数

(令和7年4月1日現在)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
職員定数〔条例定数〕	128 人	128 人	116 人	116 人	116 人
予算定数	118 人	116 人	108 人	109 人	109 人
実職員数	118 人	117 人	108 人	108 人	107 人

※管理者、再任用職員（短時間）、会計年度任用職員、休職者は含まない。

〔予算定数の内訳〕

次長	1 人	1 人	1 人	1 人	1 人
総務課	10 人	10 人	10 人	10 人	10 人
総務係	5 人	5 人	5 人	5 人	5 人
経理係	5 人	5 人	5 人	5 人	5 人
営業課	10 人	9 人	9 人	9 人	9 人
営業係	5 人	4 人	4 人	4 人	4 人
業務係	4 人	4 人	4 人	4 人	4 人
船舶運航課	5 人	5 人	5 人	5 人	5 人
係員	4 人	4 人	4 人	4 人	4 人
安全運航推進室	92 人	91 人	83 人	84 人	84 人
係員	3 人	4 人	4 人	4 人	4 人
船舶技術担当主幹	1 人	1 人	1 人	1 人	1 人
船舶4隻	87 人	85 人	77 人	78 人	78 人

※令和2年4月1日～ 安全運航推進室新設

※令和5年4月1日～ 5隻体制→4隻体制

④ 年齢別・職種別職員構成表

〔全体〕

(令和7年4月1日現在)

	総数	～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上
人数	107人	0人	8人	3人	13人	16人	28人	26人	10人	3人
構成比	100.0%	0.0%	7.5%	2.8%	12.2%	15.0%	26.2%	24.3%	9.3%	2.8%

〔企業職〕

	総数	～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上
人数	28人	0人	8人	1人	5人	0人	5人	4人	4人	1人
構成比	100.0%	0.1%	28.6%	3.6%	17.9%	0.0%	17.9%	14.3%	14.3%	3.7%

〔海事職〕

	総数	～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上
人数	79人	0人	0人	2人	8人	16人	23人	22人	6人	2人
構成比	100.0%	0.0%	0.0%	2.5%	10.1%	20.3%	29.1%	27.8%	7.6%	2.5%

⑤ 職種別・平均年齢・平均給料等比較

(令和7年4月1日現在)

区分	年 度 項 目	令和7年度	令和6年度	備 考
企業職	平均年齢	41歳 11月	41歳 7月	(7年度) 31人 (6年度) 30人
	平均勤続年数	16年 8月	16年 9月	
	平均給料	331,338 円	328,446 円	
	平均給与	407,415 円	396,673 円	
海事職	平均年齢	46歳 10月	46歳 1月	(7年度) 77人 (6年度) 78人
	平均勤続年数	22年 9月	22年 5月	
	平均給料	347,861 円	347,394 円	
	平均給与	429,945 円	433,376 円	
全 体	平均年齢	45歳 2月	45歳 7月	(7年度) 108人 (6年度) 108人
	平均勤続年数	21年 0月	21年 10月	
	平均給料	343,118 円	342,131 円	
	平均給与	423,478 円	423,181 円	

※管理者、再任用職員（短時間）、会計年度任用職員、休職者は含まない。

※平均給与には扶養・住居・通勤・管理職・時間外勤務・休日勤務・特殊勤務・管理職特別勤務手当を含む。

5 運賃・料金制度（令和7年4月1日現在）

① 一般旅客定期航路に係る運賃

ア 普通旅客運賃

（単位：円）

区 分	運賃	障害者等割引運賃
大人（小学生を除く12歳以上の者）	250	130
小児（1歳以上12歳未満の者及び12歳以上の小学生）	130	70
※大人に同伴されて乗船する場合における小学校に就学していない小児については、 同伴する大人1人につき1人に限り無料 ※障害者等割引運賃 5割引 身体障害者手帳の交付者、療育手帳の交付者及び管理者が必要と認めた介護人 精神障害者保健福祉手帳の交付者及び管理者が必要と認めた付添人 ※旅客団体割引（15名以上） 1. 一般団体旅客運賃割引 1割引 2. 学生団体旅客運賃割引（中・高・大）3割引（小児）1割引 ※キュート、SUNQパス提示者 無料 ※割引において10円未満の端数は切り上げ		

イ 自動車航送運賃

（単位：円）

車 長	運 賃
3メートル未満	1,280
3メートル以上4メートル未満	1,700
4メートル以上5メートル未満	2,350
5メートル以上6メートル未満	2,630
6メートル以上7メートル未満	2,940
7メートル以上8メートル未満	3,720
8メートル以上9メートル未満	4,530
9メートル以上10メートル未満	5,530
10メートル以上11メートル未満	6,540
11メートル以上12メートル未満	7,500
12メートル以上（1メートルまでを増すごとに）	860

ウ 手荷物運賃及び小荷物運賃

（単位：円）

種 類			運 賃	備 考
受託手荷物			50	受託手荷物運賃は、旅客が乗船する場合に運送委託する物品で、3辺の長さの和が2 m以下で、かつ、重量が3 0 k g 以下のもの1 個を片道1 回運送する場合に適用する。
特殊手荷物	自転車、小児用の車その他道路運送車両法第2条第4項に規定する軽車両		160	特殊手荷物運賃は、旅客が乗船する場合に運送を委託する特殊手荷物1車両等を、片道1回運送する場合に適用する。
	原動機付自転車		330	
	二輪自動車	総排気量125cc超750cc未満	480	
		総排気量750cc以上	640	
小荷物運賃	10キログラム以下		50	小荷物運賃は、荷送人から運送の委託を受けた物品で、3辺の長さの和が2 m以下で、かつ、重量が3 0 k g 以下のもの1 個を片道1 回運送する場合に適用する。
	10キログラムを超え20キログラム以下		70	
	20キログラムを超え30キログラム以下		100	

エ 定期旅客運賃及び定期特殊手荷物運賃 (単位：円)

通勤 (大人)			通学 (大人)			通学 (小児)		
区 分	期 間	運 賃	区 分	期 間	運 賃	区 分	期 間	運 賃
旅客	1 か月	6,750	旅客	1 か月	1,880	旅客	1 か月	940
	3 か月	20,250		3 か月	5,630		3 か月	2,820
自転車	1 か月	12,510	自転車	1 か月	7,640	シニア		
原付自転車 125cc以下	1 か月	18,630	原付自転車 125cc以下	1 か月	13,760	区 分	期 間	運 賃
二輪自動車 125cc超750cc未 満	1 か月	24,030	二輪自動車 125cc超750cc未 満	1 か月	19,160	旅客 (65歳以上)	1 か月	5,250
							3 か月	15,750
二輪自動車 750cc以上	1 か月	29,790	二輪自動車 750cc以上	1 か月	24,920	その他		
						区 分	期 間	運 賃
						旅客 (障害者等)	1 か月	4,730
							3 か月	14,180

オ 回数旅客運賃 (単位：円)

区 分	I C カード	36枚綴
大人 (小学生を除く12歳以上の者)	11分の10の額の普 通共通回数乗船券	7,000
小児 (1歳以上12歳未満の者及び12歳以上の小学生)		3,640

カ 回数自動車航送運賃 (単位：円)

車 長	6枚綴	40枚綴
3メートル未満	6,400	－
3メートル以上4メートル未満	8,500	45,900
4メートル以上5メートル未満	11,750	65,800
5メートル以上6メートル未満	13,150	－
6メートル以上7メートル未満	14,700	－
7メートル以上8メートル未満	18,600	－
8メートル以上9メートル未満	22,650	－
9メートル以上10メートル未満	27,650	－
10メートル以上11メートル未満	32,700	－
11メートル以上12メートル未満	37,500	－

キ 回数特殊手荷物運賃 (単位：円)

種 類		11枚綴	36枚綴
原動機付自転車		3,300	9,900
二輪自動車	総排気量125cc超750cc未満	4,800	14,400
	総排気量750cc以上	6,400	19,200
自転車、小児用の車その他道路運送車両法第2条第4 項に規定する軽車両		4,800 (50枚綴)	

ク その他運賃の割引

I コンビニ (委託発券) 片道割引 (有効期間1か月)

- ・大人 おおむね5分引 (通常運賃250円を240円)
- ・小児 おおむね5分引 (通常運賃130円を120円)
- ・車両 (3～7メートル未満) おおむね5分引
- ・自転車 おおむね5分引
- ・原動機付自転車 おおむね5分引
- ・自動二輪車 (125cc超750cc未満、750cc以上) おおむね5分引

II コンビニ (委託発券) 往復割引 (有効期間1週間)

- ・車両 (3～7メートル未満) おおむね1割引

② 旅客不定期航路に係る料金

ア 乗船料金

(単位：円)

クルーズ船の運航時間	料 金
運航時間が2時間以内	大人1,500、小児 750 ※
運航時間が2時間を超え4時間以内	大人3,000、小児1,500
運航時間が4時間を超え6時間未満	大人4,800、小児2,400

※大人に同伴されて乗船する場合における小学校に就学していない小児については、同伴する大人1人につき1人に限り無料

イ 乗船料金の割引

区 分	内 容
大人・小児（前売期間中）	1 割引
障害者等割引（身体障害者手帳・療育手帳の交付者及び管理者が必要と認めた介護人、精神障害者保健福祉手帳の交付者及び管理者が必要と認めた付添人）	5 割引
70歳以上高齢者	1 割引
キューート1日券及びキューート2日券提示者	2 割引

ウ 貸切料金（1隻）

(単位：円)

利用時間が2時間以内	440,000
区 分	加算料金（1隻）
利用時間が2時間を超え3時間以内	187,000
利用時間が3時間を超え4時間以内	352,000
利用時間が4時間を超え5時間以内	440,000
利用時間が5時間を超え6時間未満	484,000

エ 貸切船料金の割引

- I 学校等に通学又は通園する者の団体については、3割引
- II 洋上結婚式に使用する者の団体については、3割引

③ その他（桜島フェリーオリジナルグッズ等について）

ア 主なグッズの種類

（単位：円）

種類	販売価格	備考	種類	販売価格	備考
プルバックカー	1,000 (1,200)		御船印	300～	5種類
ポストカード	200	4枚1組	御船印帳	2,200	
缶バッジ	200	5種類	てぬぐい	1,200 (1,400)	2種類(カラー、モノクロ)
マイバック	1,300 (1,500)		ふくふくシール	300	
カラビナ	500	5種類 ガチャガチャにて 販売	扇子	2,500	

※（）内は両港窓口、船内売店、桜島島内、交通局、通信販売以外の価格

イ グッズの販売場所

船舶局営業課窓口（桜島港フェリーターミナル内）

鹿児島港乗船券発売所（鹿児島港桜島フェリーターミナル内）

船内売店、レインボー桜島、交通局乗車券発売所

維新ふるさと館、かごしま水族館、かのやばら園

鹿児島県特産品協会（鹿児島ブランドショップ、かごしま遊楽館（東京））

6 時刻表

(令和5年4月1日改定)

〔平日〕 1日51航海(102便)

時間	桜島港発			
0	00			
1	00			
2	00			
3	00			
4	00			
5	00			
6	05	25	45	
7	05	25	45	
8	05	25	45	
9	05	25	45	
10	05	25	45	
11	05	25	45	
12	05	25	45	
13	05	25	45	
14	05	25	45	
15	05	25	45	
16	05	25	45	
17	05	25	45	
18	05	25	45	
19	05	30		
20	00			
21	00			
22	00			
23	00			

〔土日祝日〕 1日56航海(112便)

時間	桜島港発			
0	00			
1	00			
2	00			
3	00			
4	00			
5	00			
6	05	25	45	
7	05	25	45	
8	05	25	45	
9	05	25	45	
10	05	25	45	
11	05	25	45	
12	05	25	45	
13	05	25	45	
14	05	15	30	45
15	00	15	30	45
16	00	15	30	45
17	00	15	30	45
18	00	15	30	45
19	05	30		
20	00			
21	00			
22	00			
23	00			

時	鹿児島港発			
0	30			
1	30			
2	30			
3	30			
4	30			
5	30			
6	00	30		
7	00	20	40	
8	00	20	40	
9	00	20	40	
10	00	20	40	
11	00	20	40	
12	00	20	40	
13	00	20	40	
14	00	20	40	
15	00	20	40	
16	00	20	40	
17	00	20	40	
18	00	20	40	
19	00	30		
20	00	30		
21	30			
22	30			
23	30			

時	鹿児島港発			
0	30			
1	30			
2	30			
3	30			
4	30			
5	30			
6	00	30		
7	00	20	40	
8	00	20	40	
9	00	20	40	
10	00	20	40	
11	00	20	40	
12	00	20	40	
13	00	20	40	
14	00	15	30	45
15	00	15	30	45
16	00	15	30	45
17	00	15	30	45
18	00	15	30	45
19	00	30		
20	00	30		
21	30			
22	30			
23	30			

第 2 章 施設等

1 施設

① 船舶一覧

(令和7年4月1日現在)

船種 (愛)	船舶番号	船名 (船名)	第 十 六 櫻 島 丸 (ドールフインライナー)	第 十 八 櫻 島 丸 (プリンセスマリン)	桜 島 丸 (サクラエーション)	第 二 桜 島 丸 (サクラフエアリー)	丸 丸 (サクラフエアリー)
船	第 1 3 6 4 1 3 号	第 1 3 6 4 1 3 号	第 1 3 6 4 1 3 号	第 1 3 6 8 3 6 号	第 1 4 1 3 5 6 号	第 1 4 2 3 3 7 号	第 1 4 2 3 3 7 号
起 工	平 成 1 0 年 7 月	平 成 1 0 年 7 月	平 成 1 0 年 7 月	平 成 1 4 年 8 月	平 成 2 2 年 4 月	平 成 2 6 年 4 月	平 成 2 6 年 4 月
進 水	平 成 1 0 年 1 1 月	平 成 1 0 年 1 1 月	平 成 1 0 年 1 1 月	平 成 1 4 年 1 2 月	平 成 2 2 年 1 1 月	平 成 2 6 年 1 1 月	平 成 2 6 年 1 1 月
竣 工	平 成 1 1 年 1 月	平 成 1 1 年 1 月	平 成 1 1 年 1 月	平 成 1 5 年 2 月	平 成 2 3 年 2 月	平 成 2 7 年 3 月	平 成 2 7 年 3 月
主 要 寸 法	総 ト ン 数	997トン	1240トン	50.01m	51.59m	51.38m	51.38m
	国籍証書に掲げる長さ	48.01m	56.10m	57.36m	59.00m	59.00m	59.00m
	全 長	54.02m	13.40m	3.80m	4.50m	4.20m	4.20m
	船 の 幅	3.80m	2.80m	431.70㎡	480.00㎡	460.00㎡	460.00㎡
	船 の 深 さ	2.80m	422.40㎡	369.92㎡	428.00㎡	462.00㎡	462.00㎡
	満 載 喫 水	263.00㎡	272.80㎡	272.80㎡	342.00㎡	365.00㎡	365.00㎡
	上 車 両 甲 板	1.95m	4.10m	2.20m	2.20m	2.20m	2.20m
	上部・上車両甲板高さ	大型10台 乗用32台	大型10台 乗用32台	大型10台 乗用32台	大型9台 乗用32台	大型10台 乗用30台	大型10台 乗用30台
	航 送 車 両	一般旅客	不定期航路	一般旅客	不定期航路	一般旅客	不定期航路
	最大積載能力	736人	674人	657人	600人	1200人	1200人
主機の種類・連続最大出力	旅 客	14人	14人	16人	14人	14人	14人
	船 員	750人	688人	673人	614人	1214人	1214人
	計	D1765kw	D2058kw	D2000kw	D2000kw	D2000kw	D2000kw
	航 海 速 力	10.5ノット	11.0ノット	11.0ノット	11.0ノット	11.0ノット	11.0ノット
取 得 価 格	1,071,912千円	1,044,435千円	1,044,435千円	2,488,500千円	1,974,000千円	1,974,000千円	1,974,000千円
建 造 所	香川県讃岐造船(株)	長崎市長栄造船(株)	長崎市長栄造船(株)	広島県中谷造船(株)	長崎県前畑造船(株)	長崎県前畑造船(株)	長崎県前畑造船(株)

② 桜島港側陸上施設

(令和7年4月1日現在)

区 分				仕 様
建 物	桜島港フェリーターミナルビル(H30. 3)			RC3F(一部4F) (2, 924. 79 ㎡(内待合所 183. 39 ㎡))
	備品倉庫(H5. 3)			RC1F(86. 4 ㎡)
	納涼船用倉庫(H2. 2)			RC1F(38. 88 ㎡)
	第1 ポンプ室(H31. 3) (第二、三バース)			RC2F(151. 04 ㎡)
	第2 ポンプ室(H29. 3) (第四バース)			RC2F(108. 68 ㎡)
	給油ポンプ室(S51. 6)			RC1F(7. 36 ㎡)
	船舶資材倉庫(S62. 3)			RC1F(27. 4 ㎡)
	警備員控室改修(H30. 3)			プレハブ(5. 37 ㎡)
	桜島フェリーゲート警備員控室(H29. 3)			S1F(12. 42 ㎡)
	桜島港料金徴収所(S52. 3)、改修(H16. 10)			S1F(22. 37 ㎡)
	桜島港第二、三バース屋外警備室(R 元. 9)			サンルーム(5. 35 ㎡)
	桜島港料金徴収所(R 元. 9)			プレハブ(3. 45 ㎡)
(固定部) 車道橋	第二、三バース (R2. 3)			スロープ(擁壁・橋台構造)、鋼製ラーメン橋 SS400, SM400A, SM490Y, STK400(長さ 97. 578m)
	第四バース (H29. 3)			スロープ(擁壁・橋台構造)、鋼製ラーメン橋 SS400, SM400A, SM490Y, STK400(長さ 85. 693m)
(可動部) 車道橋	第二バース	下 段	(R2. 3)	中路及び上路式鋼製橋 SM490Y, SM490, SM400, SS400(長 さ 25. 194m) 昇降装置：シリンダー(油圧ピストン式)2 基
		上 段	(R2. 3)	中路及び上路式鋼製橋 SM400, SS400(長さ 25. 85m) 昇降装置：シリンダー(油圧ピストン式)2 基
	第三バース	下 段	(R2. 3)	中路及び上路式鋼製橋 SM490Y, SM490, SM400, SS400(長 さ 25. 194m) 昇降装置：シリンダー(油圧ピストン式)2 基
		上 段	(R2. 3)	中路及び上路式鋼製橋 SM400, SS400(長さ 25. 85m) 昇降装置：シリンダー(油圧ピストン式)2 基
	第四バース	下 段	(H29. 3)	中路及び上路式鋼製橋 SM490, SM400, SS400(長さ 25. 194m) 昇降装置：シリンダー(油圧ピストン式)2 基
		上 段	(H29. 3)	中路及び上路式鋼製橋 SM400, SS400(長さ 25. 85m) 昇降装置：シリンダー(油圧ピストン式)2 基
(固定部) 人道橋	第二、三バース (R2. 3)			鋼製ラーメン橋 SS400, SM400A, SM490Y, STK400 (長さ 50. 802m)
	第四バース (H29. 3)			鋼製ラーメン橋 SS400, SM400A, SM490Y, STK400 (長さ 87. 336m)
(可動部) 人道橋	第二、三バース (R2. 3)			上路式プレートガーダー橋 SM400, SS400(長さ 23. 307m) 昇降装置：シリンダー(電動スピンドル式)4 基 俯仰装置：シリンダー(油圧ピストン式)2 基 出入装置：シリンダー(油圧ピストン式)2 基
	第四バース (H29. 3)			上路式プレートガーダー橋 SM400, SS400(長さ 23. 307m) 昇降装置：シリンダー(電動スピンドル式)4 基 俯仰装置：シリンダー(油圧ピストン式)1 基 出入装置：シリンダー(油圧ピストン式)1 基
燃料貯蔵タンク (S51. 6)				110 kℓ地下油槽 3 基 給油ポンプ外 オイルフェンス 60m (H20. 3 休止)
桜島港駐車場(H5 使用開始、H19. 3 整備・有料化)				約 8, 200 ㎡ (358 台、H24. 3 区画 8 台増設)
駐輪場(R2. 3)				約 212 ㎡
接岸岸壁(S47. 11) 延伸 (R2. 3)				桜島港接岸岸壁(第二バース及び第三バース)

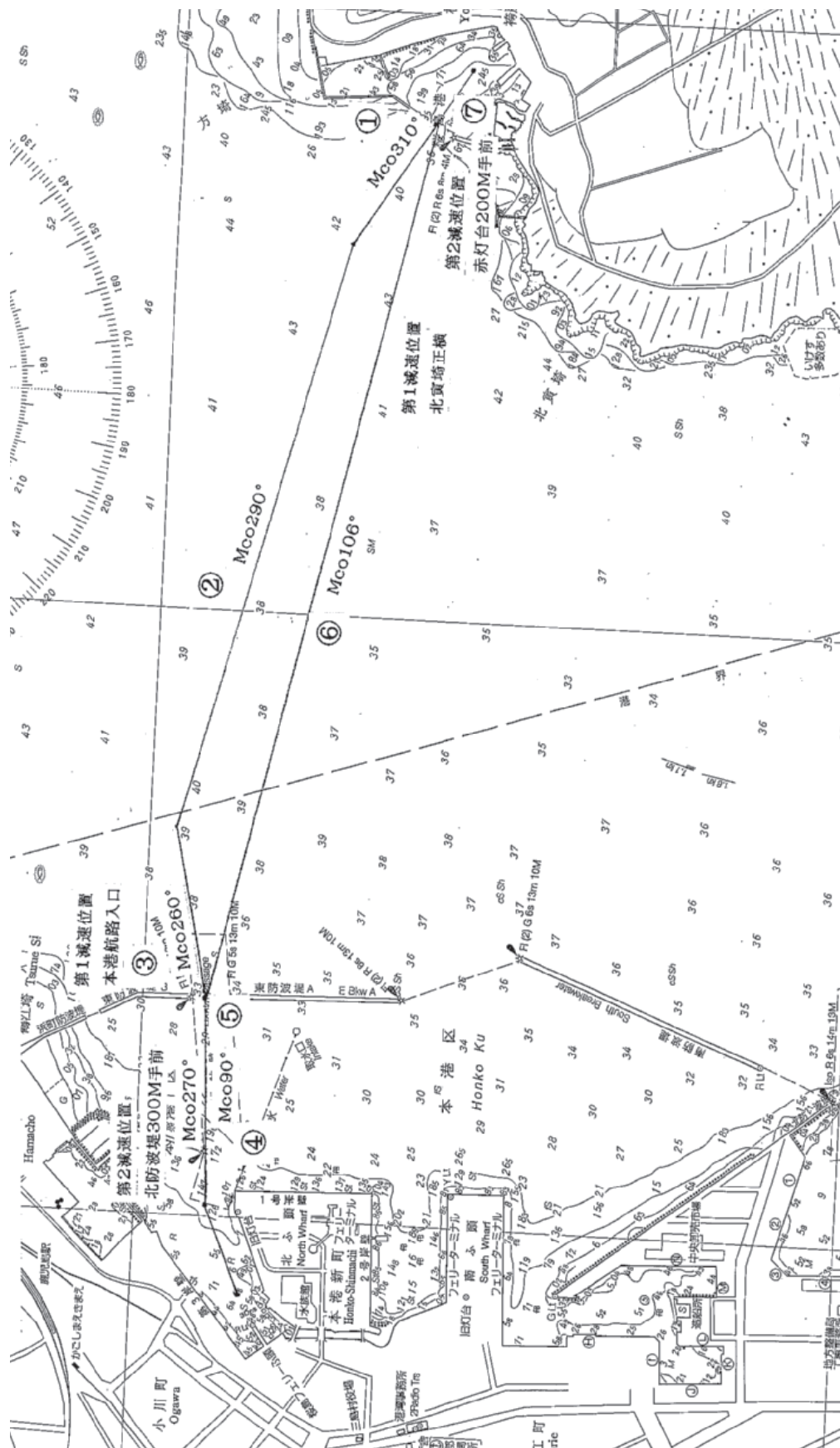
③ 鹿児島港側陸上施設

(令和7年4月1日現在)

区 分				仕 様
建 物	桜島フェリーターミナルビル 【※建物は鹿児島県所有】			RC2F (2,949.1 m ² (内待合ロビー1,085.7 m ²)) 超短波無線電話装置1台 (F3 158.85MHZ 5W)
	鹿児島港非常用発電機室(H9.12)			RC1F (30.11 m ²)
	鹿児島港油圧ポンプ室(H9.12)			RC1F (20.45 m ²)
(可 動 部) 車 道 橋	第一バース	下 段	(H9.12)	鋼製板桁 SS41(長さ25.3m) 昇降装置: シリンダー(油圧ピストン式)2基
		上 段	(H9.12)	鋼製板桁 SS41(長さ27.2m) 昇降装置: シリンダー(油圧ピストン式)2基
	第二バース	下 段	(H9.12)	鋼製板桁 SS41(長さ25.3m) 昇降装置: シリンダー(油圧ピストン式)2基
		上 段	(H9.12)	鋼製板桁 SS41(長さ27.2m) 昇降装置: シリンダー(油圧ピストン式)2基
	第三バース		(H9.12)	鋼製板桁 SS41(長さ25.3m) 昇降装置: シリンダー(油圧ピストン式)2基
	第一、二バース(H9.12)			鋼製板桁 SS41(長さ30.0m) 昇降装置: シリンダー(電動スピンドル式)4基 俯仰装置: シリンダー(油圧ピストン式)2基 出入装置: シリンダー(油圧ピストン式)2基
(可 動 部) 人 道 橋	第三バース(H12.7)			鋼製板桁 SS41(長さ30.0m) 昇降装置: シリンダー(電動スピンドル式)4基 俯仰装置: シリンダー(油圧ピストン式)1基 出入装置: シリンダー(油圧ピストン式)1基
	鹿児島港駐車場(H13.3)			S2F (1,286.21 m ²)

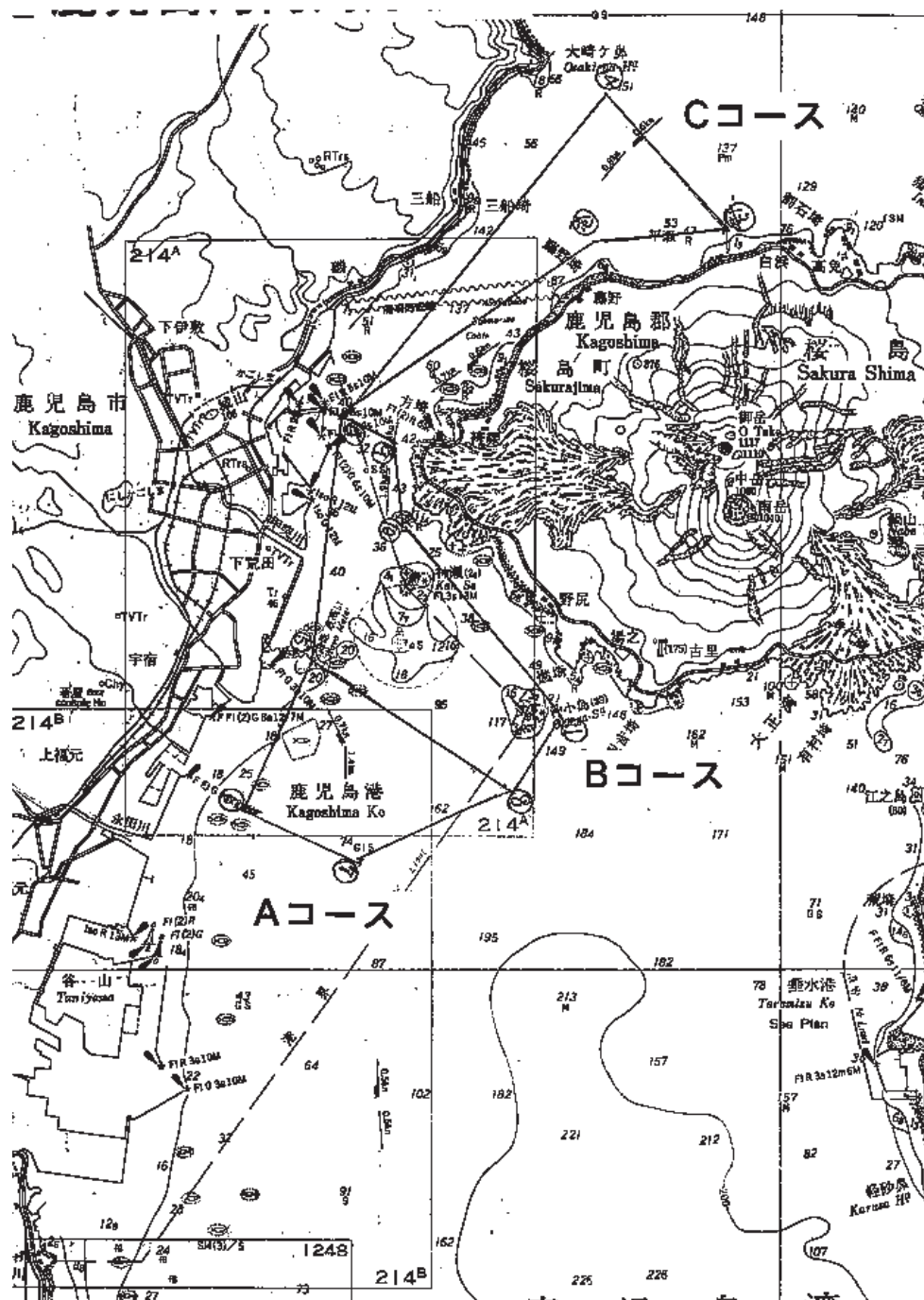
2 基準航路

① 桜島～鹿児島航路（一般旅客定期航路）



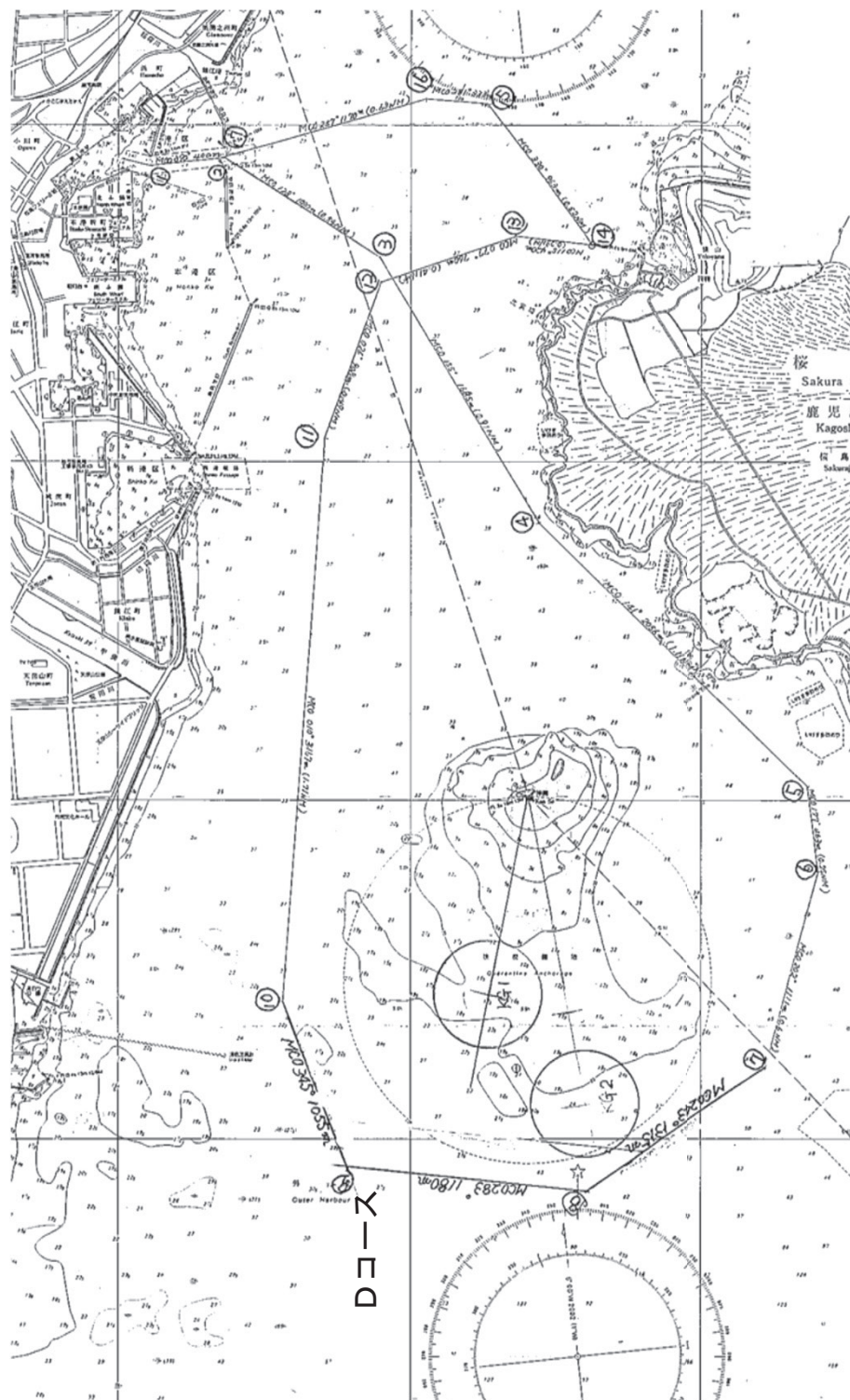
平成18年2月15日認可

②-1 鹿児島湾内周遊航路（旅客不定期航路）



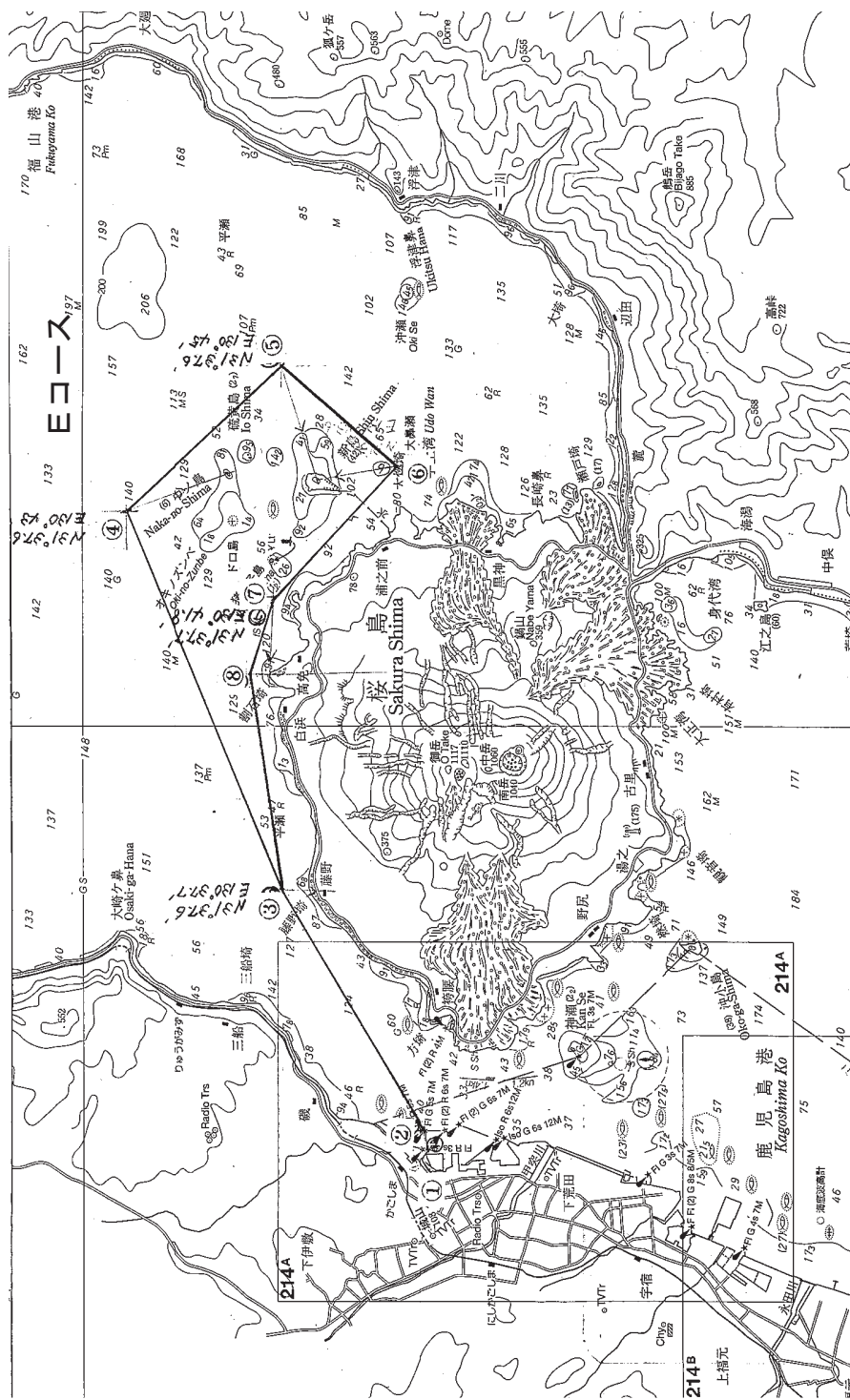
平成23年6月24日認可

②-2 鹿兒島湾内周遊航路 (旅客不定期航路)



平成23年5月12日認可

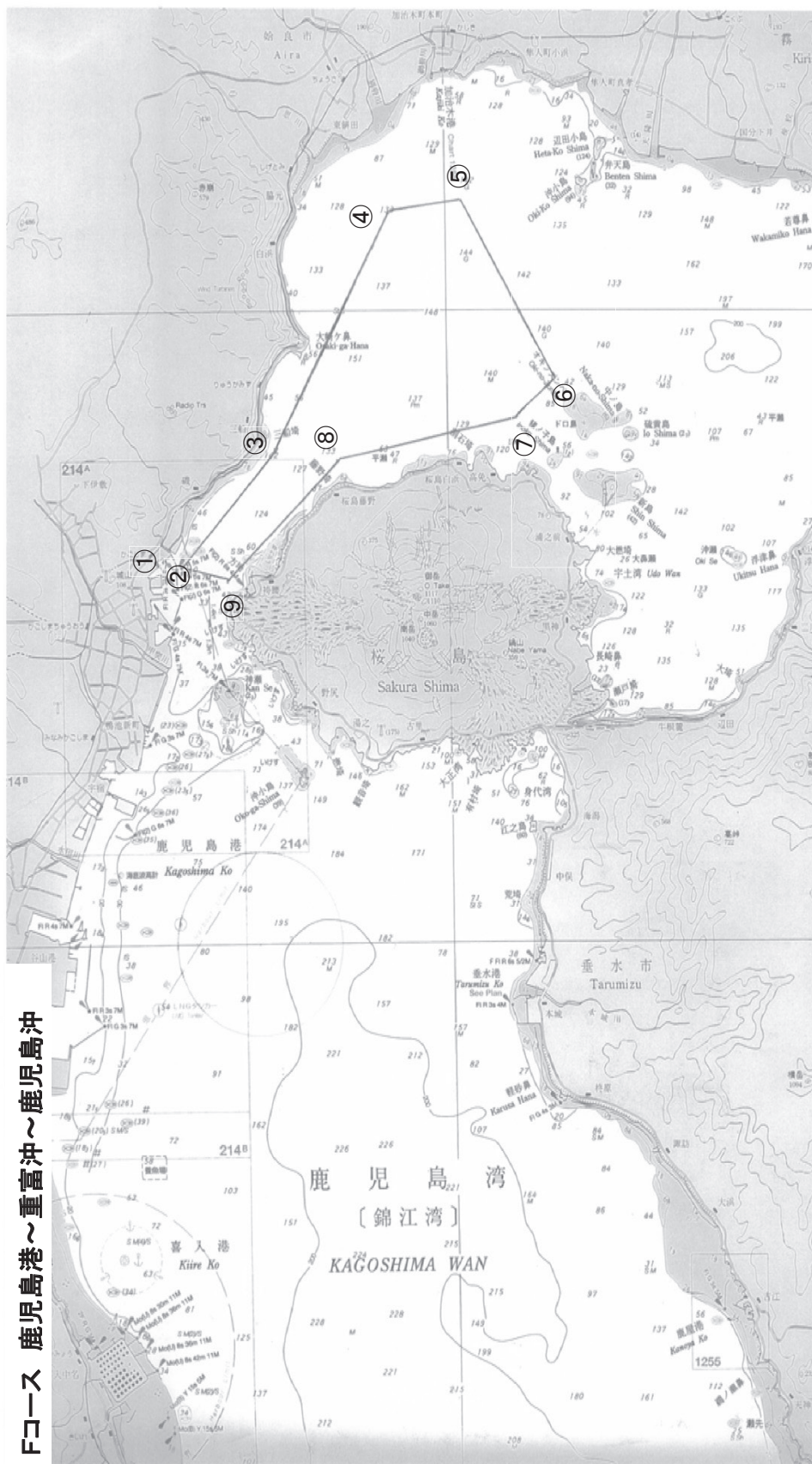
②-3 鹿児島湾内周遊航路（旅客不定期航路）



平成24年6月8日認可

②-4 鹿児島湾内周遊航路 (旅客不定期航路)

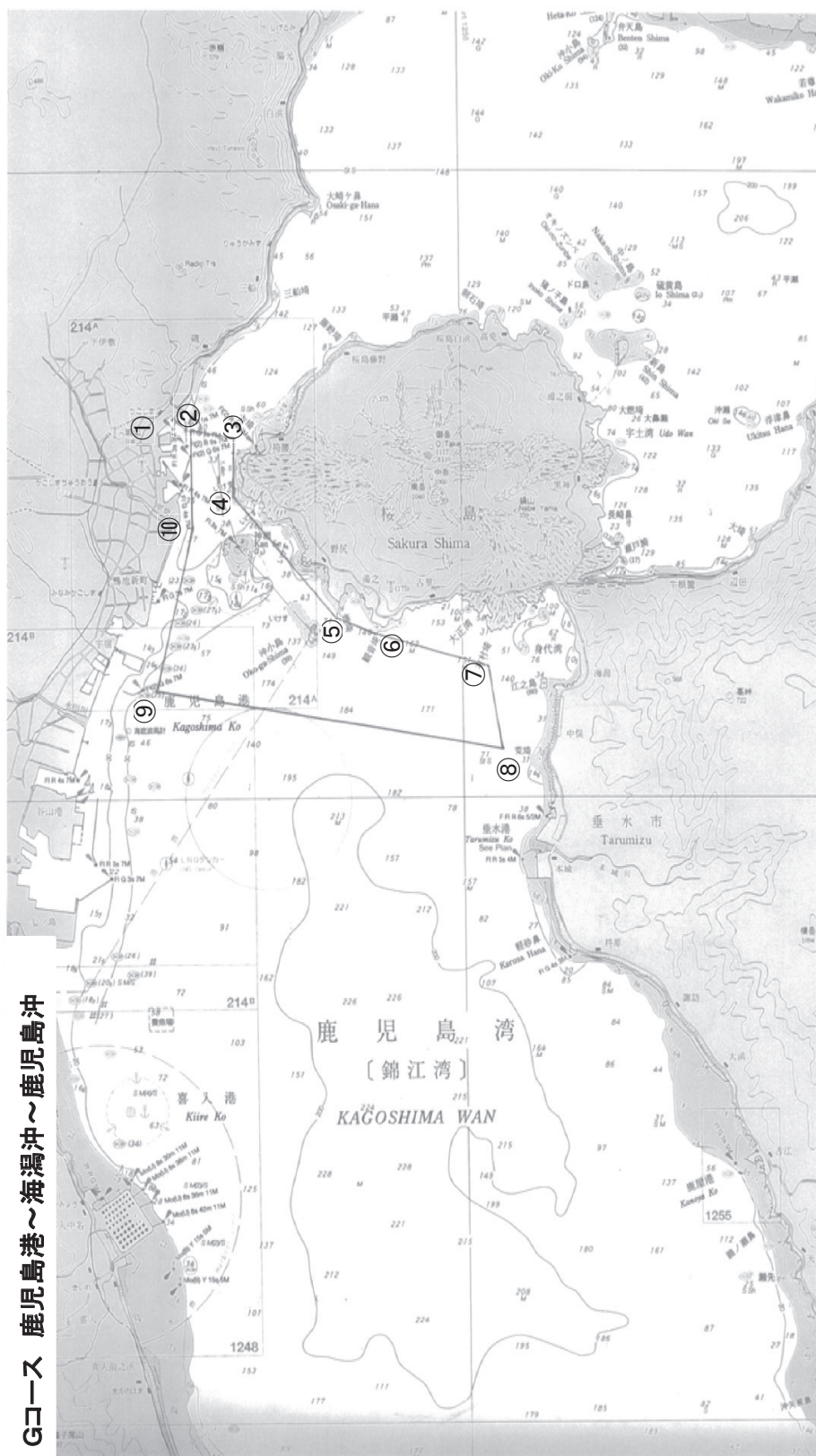
コース 鹿児島港～重富沖～鹿児島沖



平成28年9月9日認可

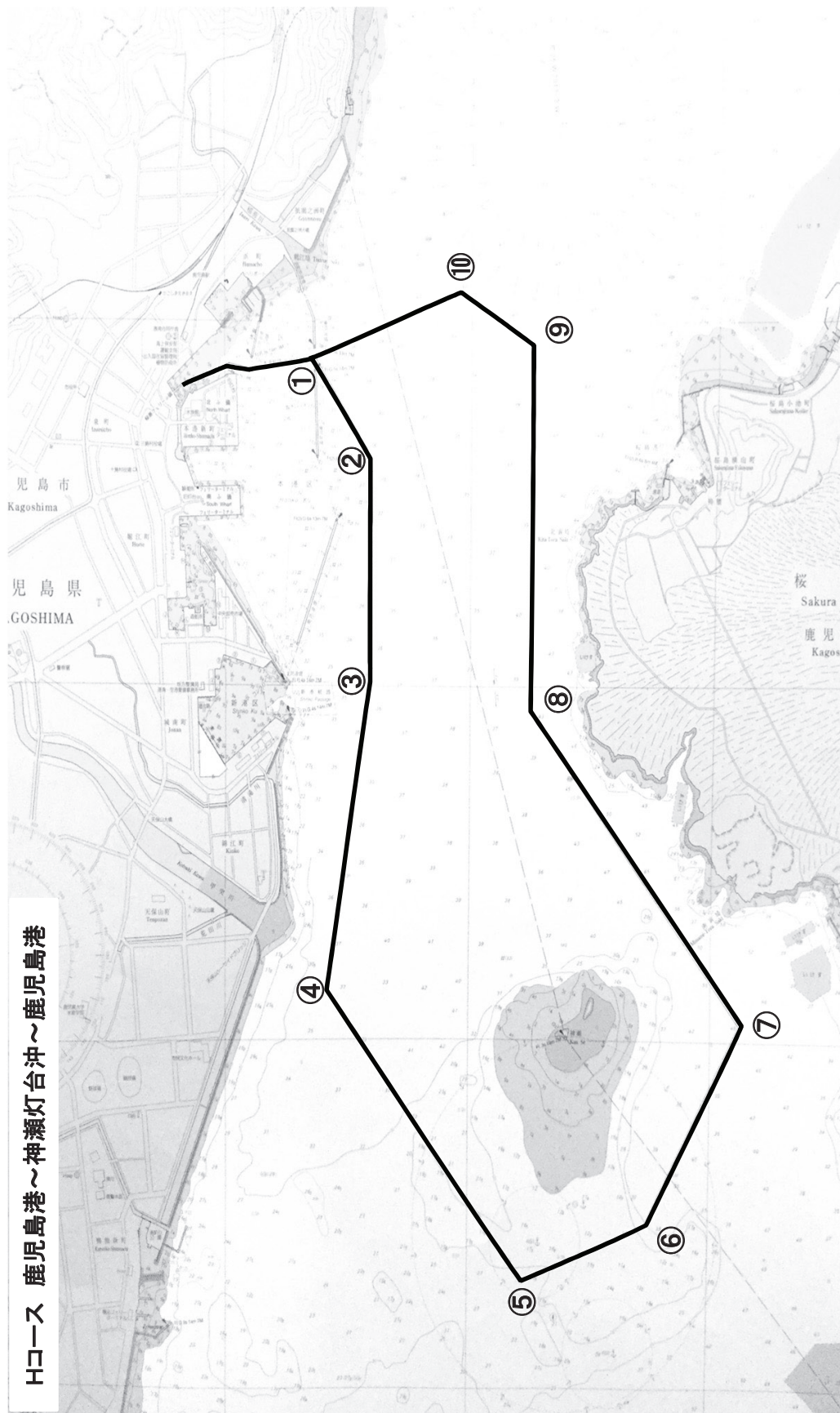
②ー5 鹿児島湾内周遊航路 (旅客不定期航路)

Gコース 鹿児島港～海潟沖～鹿児島湾



平成28年9月9日認可

②－6 鹿児島湾内周遊航路 (旅客不定期航路)



令和3年1月8日認可

第 3 章 業 務

1 業務量の推移表

種 目	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	対前年度比（％）				
							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
営業航路	km	57.8	57.8	57.8	46.8	46.8	100.0	100.0	100.0	81.0	100.0
営業日数	日	365	365	365	366	365	99.7	100.0	100.0	100.3	99.7
運航路線数	本	3	3	3	2	2	100.0	100.0	100.0	66.7	100.0
在籍船舶	隻	5	5	5	4	4	100.0	100.0	100.0	80.0	100.0
在籍船舶総屯数	t	6,105	6,105	6,105	4,971	4,971	100.0	100.0	100.0	81.4	100.0
延船舶数	年	82	87	92	68	72	106.5	100.0	105.7	73.9	105.9
年間運航距離	km	156,218.4	156,556.8	153,325.6	131,983.2	131,554.4	91.3	100.0	97.9	86.1	99.7
1日運航距離	km	428.0	428.9	420.1	360.6	360.4	91.6	100.0	97.9	85.8	99.9
年間輸送量	旅客	1,918,061	1,993,473	2,367,955	2,703,461	2,766,279	61.3	100.0	118.8	114.2	102.3
	手小荷物	7,202,830	7,318,450	6,719,760	6,641,350	6,204,540	93.6	100.0	91.8	98.8	93.4
	両車	912,821	940,658	1,011,957	1,015,386	953,631	78.2	100.0	107.6	100.3	93.9
1日輸送量	旅客	5,255.0	5,461.6	6,487.5	7,386.5	7,578.8	61.4	100.0	118.8	113.9	102.6
	手小荷物	19,733.8	20,050.5	18,410.3	18,145.8	16,998.7	93.9	100.0	91.8	98.6	93.7
	両車	2,500.9	2,577.1	2,772.5	2,774.3	2,612.7	78.5	100.0	107.6	100.1	94.2
年間運航収益	円	1,529,815,277	1,570,361,498	1,750,482,386	1,837,746,255	2,044,258,644	77.0	100.0	111.5	105.0	111.2
1日運航収益	円	4,191,274.7	4,302,360.3	4,795,842.2	5,021,164.6	5,600,708.6	77.2	100.0	111.5	104.7	111.5

2 旅客業務実績（令和6年度 月別）

種別		月別	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
一 般 旅 客	大 人		人	73,747	88,091	58,006	72,282	81,566	69,807	80,442	82,657	78,002	77,480	82,066	95,588	939,724
	小 児		人	1,374	1,514	1,057	1,745	2,111	1,038	1,293	1,256	1,319	1,641	1,653	1,654	17,655
車 両 同 乗 者	大 人		人	55,538	68,565	44,368	48,023	71,280	47,305	50,256	54,621	53,304	54,342	50,299	56,702	654,603
	小 児		人	6,169	6,706	4,647	6,548	17,166	4,212	3,581	4,048	5,871	7,510	7,033	6,450	79,941
団 体 旅 客	大 人		人	6,337	6,139	5,482	4,193	2,166	3,680	5,083	6,031	3,893	2,788	4,144	7,731	57,667
	小 児		人	293	708	149	602	1,474	650	600	523	516	316	862	661	7,354
後 納	大 人		人	1,752	1,750	995	2,583	882	908	1,462	13,428	12,229	1,094	2,803	3,233	43,119
	小 児		人	4	13	0	45	54	8	9	16	15	35	9	25	233
ク ー ポ ン	大 人		人	14,905	11,231	7,823	7,289	6,703	6,275	14,964	11,980	6,748	2,744	4,594	10,974	106,230
	小 児		人	61	805	367	600	1,194	232	691	2,851	841	60	395	79	8,176
コ ン ビ	大 人		人	1,670	1,976	1,791	2,205	2,680	1,575	3,996	1,761	1,649	1,938	1,776	1,962	24,979
	小 児		人	450	319	380	377	1,187	277	311	266	276	417	451	379	5,090
定 期 券	通 勤		人	37,300	34,960	83,520	24,620	21,382	31,198	34,872	35,552	33,896	36,556	31,586	37,778	443,220
	通 学		人	10,650	5,040	11,278	8,150	4,650	7,500	10,124	6,750	5,200	9,436	5,936	6,174	90,888
ラ ビ カ 回 数 券	大 人		人	11,914	12,625	11,333	10,975	11,898	10,120	12,609	12,321	11,995	11,302	11,689	12,272	141,053
	小 児		人	450	386	409	470	950	324	517	335	495	710	684	651	6,381
回 数 券 3 6 枚 綴	大 人		人	10,371	9,334	6,660	18,440	9,634	10,953	12,029	11,744	11,354	9,576	9,108	10,786	129,989
	小 児		人	972	144	0	1,512	2,283	900	576	724	612	504	1,410	340	9,977
当 年 度 分 計	旅 客 数		人	233,957	250,306	238,265	210,659	239,260	196,962	233,415	246,864	228,215	218,449	216,488	253,439	2,766,279
	運 賃 (税 込)		円	36,043,287	40,195,645	33,336,686	40,909,328	48,352,926	38,112,393	45,754,362	47,879,512	44,657,132	41,901,572	41,895,804	50,574,825	509,613,472
前 年 度 分	旅 客 数		人	216,456	252,680	186,576	213,486	274,512	223,136	223,551	249,937	203,056	208,311	206,732	245,028	2,703,461
	運 賃 (税 込)		円	32,902,771	40,206,698	28,554,412	32,151,218	41,754,323	34,504,209	34,562,151	39,534,951	32,296,839	31,875,524	32,087,385	39,159,437	419,589,918
対 前 年 度	旅 客 数	増 減	人	17,501	△ 2,374	51,689	△ 2,827	△ 35,252	△ 26,174	9,864	△ 3,073	25,159	10,138	9,756	8,411	62,818
	比 率		%	108.1%	99.1%	127.7%	98.7%	87.2%	88.3%	104.4%	98.8%	112.4%	104.9%	104.7%	103.4%	102.3%
年 度 運 賃 (税 込)	増 減		円	3,140,516	△ 11,053	4,782,274	8,758,110	6,598,603	3,608,184	11,192,211	8,344,561	12,360,293	10,026,048	9,808,419	11,415,388	90,023,554
	比 率		%	109.5%	100.0%	116.7%	127.2%	115.8%	110.5%	132.4%	121.1%	138.3%	131.5%	130.6%	129.2%	121.5%

※旅客数合計は延人員（1か月定期券×50回・3か月定期券×150回・回数券×各枚数綴）で集計した。
※不定期航路は除く。

3 車両業務実績（令和6年度 月別）

種別	月別	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
3m未満 3m以上・4m未満 4m以上・5m未満 5m以上・6m未満 6m以上・7m未満 7m以上・8m未満 8m以上・9m未満 9m以上・10m未満 10m以上・11m未満 11m以上・12m未満 後 納		台	23	48	28	24	17	38	26	26	22	27	13	22	314
		台	23,914	28,085	21,493	22,716	28,167	22,948	23,255	24,823	26,011	23,480	23,378	25,422	293,692
		台	19,408	24,600	16,711	18,271	26,393	17,644	18,775	20,186	20,586	20,046	19,447	20,234	242,301
		台	515	611	375	506	531	430	553	571	494	436	519	523	6,064
		台	198	202	179	239	215	221	262	268	243	178	219	238	2,662
		台	59	75	33	62	75	61	100	61	69	89	95	79	858
		台	61	56	71	91	45	62	83	76	105	49	58	88	845
		台	33	11	28	24	16	21	22	14	15	18	17	30	249
		台	2	1	0	2	1	6	2	0	2	3	2	0	21
		台	154	144	121	91	57	103	133	180	142	108	131	214	1,578
		台	843	896	850	969	867	947	1,011	1,170	1,007	918	927	975	11,380
クレーン コンベヤ		台	385	428	301	298	229	249	645	586	282	124	239	315	4,081
		台	2,080	2,102	2,098	2,003	2,564	1,841	1,974	1,958	2,022	2,049	1,741	1,918	24,350
		台	1,273	1,337	1,070	1,284	1,160	1,166	1,146	1,188	1,234	1,115	1,036	1,203	14,212
回数券42枚綴 (R6.7～)		台	7,633	8,022	6,420	7,700	6,960	6,996	6,875	7,124	7,401	6,689	6,216	7,216	85,252
		台	518	510	278	1,025	511	588	577	620	619	613	501	580	6,940
		台	21,733	21,390	11,666	40,967	20,408	23,520	23,073	24,765	24,738	24,520	20,022	23,182	279,984
計		台	77,041	86,671	60,374	93,963	86,545	75,087	76,789	81,808	83,139	78,734	73,024	80,456	953,631
		運賃 (税込)	122,237,979	136,936,918	101,969,804	171,899,673	166,441,538	138,259,825	143,357,899	150,256,379	153,876,240	144,127,090	131,224,733	149,644,754	1,710,232,832
前年度分		台	87,975	91,401	73,853	82,509	96,159	83,343	81,329	86,006	85,610	79,540	79,272	88,389	1,015,386
		運賃 (税込)	134,185,577	142,438,731	112,016,472	126,674,905	149,823,083	127,898,630	126,285,849	136,566,376	136,360,142	121,403,666	120,662,205	137,020,085	1,571,335,721
対前年度 増減率 増減率 (税込)	台	増減	△ 10,934	△ 4,730	△ 13,479	11,454	△ 9,614	△ 8,256	△ 4,540	△ 4,198	△ 2,471	△ 806	△ 6,248	△ 7,933	△ 61,755
	比	率	87.6%	94.8%	81.7%	113.9%	90.0%	90.1%	94.4%	95.1%	97.1%	99.0%	92.1%	91.0%	93.9%
	運賃 (税込)	増減	△ 11,947,598	△ 5,501,813	△ 10,046,668	45,224,768	16,618,455	10,361,195	17,072,050	13,690,003	17,516,098	22,723,424	10,562,528	12,624,669	138,897,111
	比	率	91.1%	96.1%	91.0%	135.7%	111.1%	108.1%	113.5%	110.0%	112.8%	118.7%	108.8%	109.2%	108.8%

3-2 車両実績対前年度比較（車種区分別）

令和7年3月末現在（単位：台数）

車種区分	年 度	現金	後納	クーポン	コンビニ	回数券		回数券計	合 計
						6枚綴り	40枚綴り		
3m未満 1,280円	5	378	0	0	0	533	0	533	911
	6	314	0	0	0	66	0	66	380
	対前年度比較	△ 64	0	0	0	△ 467	0	△ 467	△ 531
3m以上4m未満 1,700円	5	307,409	889	20	18,523	48,630	198,447	247,077	573,918
	6	293,692	909	21	15,998	41,502	182,460	223,962	534,582
	対前年度比較	△ 13,717	20	1	△ 2,525	△ 7,128	△ 15,987	△ 23,115	△ 39,336
4m以上5m未満 2,350円	5	246,761	1,164	95	8,804	30,448	111,542	141,990	398,814
	6	242,301	1,996	198	8,085	27,723	97,524	125,247	377,827
	対前年度比較	△ 4,460	832	103	△ 719	△ 2,725	△ 14,018	△ 16,743	△ 20,987
5m以上6m未満 2,630円	5	6,683	118	92	110	5,412	0	5,412	12,415
	6	6,064	139	136	141	5,427	0	5,427	11,907
	対前年度比較	△ 619	21	44	31	15	0	15	△ 508
6m以上7m未満 2,940円	5	2,608	3,561	311	114	4,622	0	4,622	11,216
	6	2,662	3,351	289	126	4,584	0	4,584	11,012
	対前年度比較	54	△ 210	△ 22	12	△ 38	0	△ 38	△ 204
7m以上8m未満 3,720円	5	841	608	11	0	1,656	0	1,656	3,116
	6	858	539	7	0	2,808	0	2,808	4,212
	対前年度比較	17	△ 69	△ 4	0	1,152	0	1,152	1,096
8m以上9m未満 4,530円	5	1,004	3,781	406	0	1,926	0	1,926	7,117
	6	845	3,292	434	0	1,330	0	1,330	5,901
	対前年度比較	△ 159	△ 489	28	0	△ 596	0	△ 596	△ 1,216
9m以上10m未満 5,530円	5	281	75	2	0	426	0	426	784
	6	249	107	5	0	352	0	352	713
	対前年度比較	△ 32	32	3	0	△ 74	0	△ 74	△ 71
10m以上11m未満 6,540円	5	23	303	1	0	30	0	30	357
	6	21	275	0	0	18	0	18	314
	対前年度比較	△ 2	△ 28	△ 1	0	△ 12	0	△ 12	△ 43
11m以上12m未満 7,500円	5	1,693	882	2,699	0	1,464	0	1,464	6,738
	6	1,578	772	2,991	0	1,442	0	1,442	6,783
	対前年度比較	△ 115	△ 110	292	0	△ 22	0	△ 22	45
12m以上 1m増すごとに860円	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	対前年度比較	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	5	567,681	11,381	3,637	27,551	95,147	309,989	405,136	1,015,386
	6	548,584	11,380	4,081	24,350	85,252	279,984	365,236	953,631
	対前年度比較	△ 19,097	△ 1	444	△ 3,201	△ 9,895	△ 30,005	△ 39,900	△ 61,755

3－③ 車両実績対前年度比較（売上区分別）

令和7年3月末現在（単位：台数）

売上区分	年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1．現金	5	46,646	55,050	37,728	44,500	58,459	46,281	45,276	48,684	46,580	45,059	42,824	50,594	567,681
	6	44,367	53,833	39,039	42,026	55,517	41,534	43,211	46,205	47,689	44,434	43,879	46,850	548,584
	対前年度比較	△ 2,279	△ 1,217	1,311	△ 2,474	△ 2,942	△ 4,747	△ 2,065	△ 2,479	1,109	△ 625	1,055	△ 3,744	△ 19,097
2．後納	5	868	899	872	855	877	968	1,148	1,133	1,017	861	893	990	11,381
	6	843	896	850	969	867	947	1,011	1,170	1,007	918	927	975	11,380
	対前年度比較	△ 25	△ 3	△ 22	114	△ 10	△ 21	△ 137	37	△ 10	57	34	△ 15	△ 1
3．クーポン	5	217	456	367	142	189	370	311	584	236	142	215	408	3,637
	6	385	428	301	298	229	249	645	586	282	124	239	315	4,081
	対前年度比較	168	△ 28	△ 66	156	40	△ 121	334	2	46	△ 18	24	△ 93	444
4．コンビニ	5	2,186	2,553	2,051	2,506	2,908	2,010	2,013	2,221	2,324	2,333	2,055	2,391	27,551
	6	2,080	2,102	2,098	2,003	2,564	1,841	1,974	1,958	2,022	2,049	1,741	1,918	24,350
	対前年度比較	△ 106	△ 451	47	△ 503	△ 344	△ 169	△ 39	△ 263	△ 302	△ 284	△ 314	△ 473	△ 3,201
5．6枚回数券	5	8,988	8,060	7,212	7,752	8,586	7,757	7,776	7,368	8,803	7,285	7,806	7,754	95,147
	6	7,633	8,022	6,420	7,700	6,960	6,996	6,875	7,124	7,401	6,689	6,216	7,216	85,252
	対前年度比較	△ 1,355	△ 38	△ 792	△ 52	△ 1,626	△ 761	△ 901	△ 244	△ 1,402	△ 596	△ 1,590	△ 538	△ 9,895
6．40枚回数券	5	29,070	24,383	25,623	26,754	25,140	25,957	24,805	26,016	26,650	23,860	25,479	26,252	309,989
	6	21,733	21,390	11,666	40,967	20,408	23,520	23,073	24,765	24,738	24,520	20,022	23,182	279,984
	対前年度比較	△ 7,337	△ 2,993	△ 13,957	14,213	△ 4,732	△ 2,437	△ 1,732	△ 1,251	△ 1,912	660	△ 5,457	△ 3,070	△ 30,005
合 計	5	87,975	91,401	73,853	82,509	96,159	83,343	81,329	86,006	85,610	79,540	79,272	88,389	1,015,386
	6	77,041	86,671	60,374	93,963	86,545	75,087	76,789	81,808	83,139	78,734	73,024	80,456	953,631
	対前年度比較	△ 10,934	△ 4,730	△ 13,479	11,454	△ 9,614	△ 8,256	△ 4,540	△ 4,198	△ 2,471	△ 806	△ 6,248	△ 7,933	△ 61,755

【参考】年度別車両輸送台数（航海日誌から）

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実績（台）		57,127	63,487	69,286	66,411	89,954	77,240	84,649	92,785	88,796	71,792	67,454	82,726	911,707
	2 深夜便での輸送台数	(2,626)	(3,163)	(3,467)	(3,360)	(4,131)	(3,351)	(3,551)	(3,452)	(3,406)	(2,972)	(2,927)	(3,686)	(40,092)
	3 深夜便での輸送台数	72,858	77,888	70,785	79,751	77,257	68,956	81,414	88,370	91,754	79,934	65,060	84,857	938,884
	4 深夜便での輸送台数	(3,677)	(3,665)	(3,190)	(3,515)	(3,094)	(2,761)	(3,591)	(3,652)	(3,777)	(3,143)	(2,363)	(3,036)	(39,464)
	5 深夜便での輸送台数	78,272	91,377	75,416	76,842	92,347	76,254	89,249	88,539	91,519	84,190	79,531	94,048	1,017,584
対前年度比（％）		(3,536)	(3,758)	(3,426)	(3,380)	(3,781)	(3,116)	(3,695)	(3,273)	(3,782)	(3,350)	(2,966)	(3,796)	(41,859)
	2 深夜便での輸送台数	85,507	94,799	74,408	84,579	98,495	83,987	84,236	88,618	91,342	82,852	79,706	90,084	1,038,613
	3 深夜便での輸送台数	(3,727)	(3,971)	(3,274)	(3,526)	(4,040)	(3,263)	(3,390)	(3,499)	(3,758)	(3,421)	(2,984)	(3,484)	(42,337)
	4 深夜便での輸送台数	81,110	91,269	76,637	77,238	91,482	75,830	78,999	81,677	84,627	78,402	73,361	82,384	973,016
	5 深夜便での輸送台数	(3,620)	(3,686)	(3,295)	(3,441)	(3,981)	(3,195)	(3,133)	(3,239)	(3,550)	(3,221)	(2,558)	(2,988)	(39,907)
		127.5	122.7	102.2	120.1	85.9	89.3	96.2	95.2	103.3	111.3	96.5	102.6	103.0
	2 深夜便での輸送台数	(140.0)	(115.9)	(92.0)	(104.6)	(74.9)	(82.4)	(101.1)	(105.8)	(110.9)	(105.8)	(80.7)	(82.4)	(98.4)
	3 深夜便での輸送台数	107.4	117.3	106.5	96.4	119.5	110.6	109.6	100.2	99.7	105.3	122.2	110.8	108.4
	4 深夜便での輸送台数	(96.2)	(102.5)	(107.4)	(96.2)	(122.2)	(112.9)	(102.9)	(89.6)	(100.1)	(106.6)	(125.5)	(125.0)	(106.1)
	5 深夜便での輸送台数	109.2	103.7	98.7	110.1	106.7	110.1	94.4	100.1	99.8	98.4	100.2	95.8	102.1
		(105.4)	(105.7)	(95.6)	(104.3)	(106.9)	(104.7)	(91.7)	(106.9)	(99.4)	(102.1)	(100.6)	(91.8)	(101.1)
	2 深夜便での輸送台数	94.9	96.3	103.0	91.3	92.9	90.3	93.8	92.2	92.6	94.6	92.0	91.5	93.7
	3 深夜便での輸送台数	(97.1)	(92.8)	(100.6)	(97.6)	(98.5)	(97.9)	(92.4)	(92.6)	(94.5)	(94.2)	(85.7)	(85.8)	(94.3)
	4 深夜便での輸送台数													
	5 深夜便での輸送台数													

※船員によるカウント（航海日誌から）
 ※（ ）の深夜便運航での輸送台数は内書き

4 手荷物・小荷物業務実績（令和6年度 月別）

種別	月別												単位		合 計
	現	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
手荷物	125cc以下	金 11枚綴回数券 36枚綴回数券 定期券	931 7 16 30	1,056 4 23 33	793 10 10 34	849 13 35 31	1,107 5 18 26	1,027 7 25 37	987 3 19 28	897 8 26 30	782 8 19 28	825 6 21 35	701 6 15 23	827 7 20 30	10,782 84 247 365
	750cc未満	金 11枚綴回数券 36枚綴回数券 定期券	897 1 7 6	1,344 1 5 6	504 6 2 6	653 4 7 3	855 0 7 4	853 4 5 6	914 2 3 3	915 1 7 4	676 2 5 2	543 1 5 4	516 0 3 4	785 0 2 4	9,455 22 58 47
	750cc以上	金 11枚綴回数券 36枚綴回数券 定期券	666 0 0 2	1,105 1 2 1	176 0 0 1	284 0 1 1	478 0 1 1	490 0 0 1	721 0 2 1	586 0 0 1	312 0 2 1	227 0 0 1	255 0 1 1	348 0 0 1	5,648 1 9 12
	合 計	延 台 数	5,311	6,501	4,131	5,271	4,981	5,771	5,141	5,435	4,353	4,608	3,522	4,529	59,554
	前 年 度	延 台 数	5,089	7,328	4,201	5,844	5,332	5,440	6,129	5,331	4,574	5,095	4,380	4,918	63,661
	増		222	△ 827	△ 70	△ 573	△ 351	331	△ 988	104	△ 221	△ 487	△ 858	△ 389	△ 4,107
	比	率	104.4%	88.7%	98.3%	90.2%	93.4%	106.1%	83.9%	102.0%	95.2%	90.4%	80.4%	92.1%	93.5%
	現	金 台	1,217	1,157	499	691	837	837	1,008	927	725	558	638	1,243	10,337
	回	券 冊	4	6	0	4	1	3	4	3	2	3	2	2	34
	自 定	期 枚	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
小荷物	10 kg 以下	台	71	61	63	61	60	2	31	32	63	5	0	0	449
	20 kg 以下	台	0	0	0	3	3	0	0	0	0	63	137	45	251
	30 kg 以下	台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	個 数	71	61	63	64	63	2	31	32	63	68	137	45	700
	前 年 度	延 個 数	220	61	0	2	1	0	0	1	62	0	0	0	347
	増		△ 149	0	63	62	62	2	31	31	1	68	137	45	353
	比	率	32.3%	100.0%	皆増	3200.0%	6300.0%	皆増	皆増	3200.0%	101.6%	皆増	皆増	皆増	201.7%
	手荷物・小荷物重量合計	k g	560,150.0	680,850.0	423,710.0	545,560.0	516,470.0	597,260.0	538,570.0	452,430.0	475,640.0	368,330.0	480,210.0	6,204,540.0	
	当 年 度 分 (税 込)	円	1,792,150	2,282,160	1,238,290	1,888,940	1,937,600	2,126,070	2,142,400	1,632,810	1,584,070	1,230,670	1,782,880	21,731,450	
	前 年 度 分 (税 込)	円	1,773,160	2,404,000	1,186,650	1,651,210	1,670,010	1,720,210	1,921,980	1,714,950	1,384,350	1,264,010	1,573,100	19,613,460	
	増	減	18,990	△ 121,840	51,640	237,730	267,590	405,860	220,420	378,460	248,460	234,240	△ 33,340	209,780	2,117,990
	比	率	101.1%	94.9%	104.4%	114.4%	116.0%	123.6%	111.5%	122.1%	117.5%	117.4%	97.4%	113.3%	110.8%

※手荷物・小荷物重量合計は、単車の合計延台数×100 k g、自転車の合計延台数×20 k g 及び小荷物の合計延個数×10 k g で集計した。

5 販売実績

① クーポン

年 度	旅 客		車 両		収 益 計
	人 数	収 益	台 数	収 益	
2 年度	人 27,376	円 3,891,790	台 1,155	円 7,337,050	円 11,228,840
3 年度	人 40,589	円 5,982,400	台 1,442	円 10,193,140	円 16,175,540
4 年度	人 61,852	円 9,970,510	台 2,611	円 16,075,290	円 26,045,800
5 年度	人 96,556	円 16,361,390	台 3,637	円 26,172,488	円 42,533,878
6 年度	人 114,406	円 22,830,965	台 4,081	円 26,046,850	円 48,877,815

② コンビニエンスストアチケット

年 度	旅 客				車 両						収 益 計
	大人	小児	計	収 益	3～4m	4～5m	5～6m	6～7m	計	収 益	
2 年度	人 20,773	人 5,366	人 26,139	円 4,544,510	台 19,128	台 9,074	台 65	台 64	台 28,331	円 41,212,027	円 45,756,537
3 年度	人 21,225	人 4,619	人 25,844	円 4,482,450	台 19,256	台 9,554	台 50	台 97	台 28,957	円 42,245,880	円 46,728,330
4 年度	人 23,204	人 6,572	人 29,776	円 4,963,550	台 19,578	台 9,501	台 107	台 108	台 29,294	円 42,550,660	円 47,514,210
5 年度	人 24,204	人 6,097	人 30,301	円 5,147,490	台 18,523	台 8,804	台 110	台 114	台 27,551	円 37,199,540	円 42,347,030
6 年度	人 24,979	人 5,090	人 30,069	円 6,296,930	台 15,998	台 8,085	台 141	台 126	台 24,350	円 41,049,470	円 47,346,400

※3m未満については3～4mに計上

③ 後納券

年 度	契約 社数	旅 客		車 両		収益計
		人 数	収 益	台 数	収 益	
2 年度	社	人	円	台	円	円
	35	36,330	4,952,836	14,765	39,712,990	44,665,826
3 年度	社	人	円	台	円	円
	35	30,125	4,533,797	12,852	31,366,965	35,900,762
4 年度	社	人	円	台	円	円
	37	31,386	4,681,140	11,697	29,514,488	34,195,628
5 年度	社	人	円	台	円	円
	37	42,298	5,869,473	11,381	31,258,413	37,127,886
6 年度	社	人	円	台	円	円
	38	43,352	7,752,434	11,380	30,999,891	38,752,325

④ 定期券

(単位：枚)

年度	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2 年度	通 勤	671	532	685	691	660	649	710	666	608	665	605	693	7,835
	通 学	130	118	121	130	123	217	119	107	102	133	100	91	1,491
	単 車	47	54	53	48	56	57	51	55	52	54	54	49	630
	自転車	3	1	2	2	1	1	2	0	1	1	2	0	16
	計	851	705	861	871	840	924	882	828	763	853	761	833	9,972
3 年度	通 勤	649	601	583	661	609	651	616	602	576	621	586	638	7,393
	通 学	160	120	114	140	106	148	132	105	113	127	112	103	1,480
	単 車	48	55	56	49	51	51	49	56	42	54	43	55	609
	自転車	3	3	1	0	2	0	2	0	1	1	1	1	15
	計	860	779	754	850	768	850	799	763	732	803	742	797	9,497
4 年度	通 勤	624	618	619	631	635	616	614	597	561	634	588	643	7,380
	通 学	143	131	131	155	114	113	133	112	93	130	105	96	1,456
	単 車	28	56	39	50	38	35	46	40	35	43	36	41	487
	自転車	1	1	1	3	0	0	1	2	1	1	1	0	12
	計	796	806	790	839	787	764	794	751	690	808	730	780	9,335
5 年度	通 勤	613	620	638	615	609	601	640	584	558	621	574	606	7,279
	通 学	158	116	106	135	115	114	115	104	89	124	112	90	1,378
	単 車	32	46	35	44	36	40	46	39	34	45	38	35	470
	自転車	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	803	783	779	794	760	755	801	727	681	790	724	731	9,128
6 年度	通 勤	596	570	645	312	295	424	522	527	485	530	489	566	5,961
	通 学	139	89	132	121	85	122	133	115	86	134	106	104	1,366
	単 車	38	37	41	35	31	44	32	35	30	39	25	34	421
	自転車	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	シニア				46	37	43	55	47	53	56	55	50	442
	計	773	697	818	514	448	633	742	724	654	759	675	754	8,191

※通勤・通学定期券は、19年度からラピカ定期券のため単位は「件」

【参考】

- ①「クーポン」とは. . .
当局と船車券契約を結ぶ旅行会社が、旅客及び車両について、フェリーを利用する場合に発券するチケット。
- ②「コンビニエンスストアチケット」とは. . .
旅客及び3 m以上7 m未満までの車両について、コンビニエンスストアで販売する割引チケット。
- ③「後納」とは. . .
当局と後納契約を結ぶ会社（運送会社、バス事業者等）が、旅客及び車両について、1 か月毎に後払精算するもの。

6 遊覧船運航実績の推移

① 納涼船（昭和53年度運航開始）

年度	運航日数	乗船券販売枚数			乗船者数
		大人券	小児券	合計	
元年度	26日	12,283枚	2,563枚	14,846枚	15,216人
2年度	—	—	—	—	—
3年度	—	—	—	—	—
4年度	—	—	—	—	—

※乗船者数には、幼児・招待者を含む。

※2年度～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により運航中止。

※減船に伴い4年度をもって、事業廃止。

② 貸切船（昭和53年度運航開始）

年度	運航回数	乗船者数
2年度	1回	179人
3年度	4回	650人
4年度	15回	2,714人
5年度	20回	6,244人
6年度	12回	3,075人

③ 錦江湾魅力再発見クルーズ（平成25年度正式運航開始）

年度	運航回数	乗船者数	備考
元年度	6回	892人	春3回、秋3回
2年度	—	—	—
3年度	—	—	—

※新型コロナウイルス感染症の影響により運航中止

※新型コロナウイルス感染症の影響により運航中止

※3年度をもって、事業廃止。

④ 錦江湾ナイトクルーズ（令和5年度運航開始）

年度	運航回数	乗船者数	備考
5年度	3回	1,519人	夏2回、秋1回
6年度	3回	1,474人	春1回、夏2回

7 よりみちクルーズ船運航実績の推移（平成23年3月10日本格運航開始）

	運航回数	旅客人員	車両台数	船上セミナー（再掲）			
				冬期		夏期（ジオキッズ）	
元年度	358回	19,844人	1,557台	10回	594人	3回	106人
2年度	233回	9,314人	739台	—	—	3回	84人
3年度	319回	9,492人	821台	—	—	3回	77人
4年度	152回	9,682人	840台	—	—	3回	69人

※2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、4/15-7/31、2/15-3/7の期間

運航中止するとともに、船上セミナー夏期（ジオキッズ講座）を1回中止、また、荒天のため4回運航中止。

※3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、8/16-9/30の期間運航中止する

とともに、船上セミナー夏期（ジオキッズ講座）を1回中止。

※4年度から、土日祝日、夏休み期間等に運航。

※減船に伴い4年度をもって、事業廃止。

8 船舶の定期検査及び中間検査

(1) 検査の内容

① 定期検査

- ・ 船舶検査証書の有効期間（５年間）の満了前に受検する。
- ・ 次項の準備並びに海上試運転を行う。

〔甲板部〕

- （ア）船体を入渠し、付着した海草類等を除去
- （イ）舵の取り外し
- （ウ）清水タンク、バラストタンクを開放し、内容物を排出
- （エ）船底主要部の錆落とし及び板厚測定
- （オ）水密扉、防火扉等の閉鎖装置の効力試験
- （カ）排水ポンプ・弁箱等の開放、ストーム弁・シーチェストの開放効力試験
- （キ）錨、錨鎖及び係船用索を適当な場所に陳列
- （ク）救命設備（シューター、救命浮器）の効力テスト
消防設備の陳列並びに効力テスト
- （ケ）航海要具の取り外し、陳列並びに効力テスト
- （コ）甲板機械、揚錨機、キャプスタンの主要基部の開放、効力テスト

〔機関部〕

（ア）主機関開放

- イ シリンダーカバー取り外し、ピストン、シリンダーライナーを取り出し
冷却部検査できるよう開放
- ロ クランクアームのデフレクション計測準備
- ハ クランク軸受け、クランクピン軸受け、クランク軸とクランクアーム接合部
の検査ができるよう準備
- ニ 主機運転に直接関係のある船底弁等の開放

（イ）プロペラ軸系

- イ プロペラ中間軸受け上半、スラスト受け開放
- ロ プロペラ軸、プロペラ取り外し
- ハ 船尾管後端の軸受け及び張出し軸受けと軸との隙間測定準備
- ニ クラッチの開放

（ウ）発電機関

- イ 主機関の項と同様の準備

（エ）補機及び管装置

- イ 吸水装置ポンプのプランジャー、ピストン、インペラ及び弁箱を開放
- ロ 吸水、冷却及び潤滑油各装置のポンプ、弁箱を開放し、海水漉器、冷却器の
内部を検査できるよう準備
- ハ 空気圧縮機を開放
- ニ 過給機及び送風機を開放
- ホ 燃料油装置のポンプのプランジャー、歯車等の検査ができるよう開放し、油
を排出
- ヘ 船内電気設備の絶縁抵抗試験はじめ、各種効力テスト
- ト 法定備品を陳列し、受検準備

② 中間検査（第一種）

- ・検査基準日の前後 3 月以内に受検する。
※「検査基準日」とは、船舶検査証書の有効期間が満了する日に相当する毎年の日
- ・定期検査時の準備項目より、次を削除した事項

〔甲板部〕

- （ア）清水タンク、バラストタンクの開放検査
- （イ）船底主要部の板厚計測
- （ウ）揚錨機、キャプスタン、甲板機械の主要基部の開放検査

〔機関部〕

- （ア）燃料タンク等の開放検査
- （イ）空気タンク等の開放検査
- （ウ）クラッチの総分解検査

③ 受検に際しての留意事項

- ・主機・補機の開放検査及びプロペラ、プロペラ軸抜き出し検査に当たっては、九州運輸局鹿児島運輸支局承認の継続検査書に基づき受検
- ・油水分離器については、5 年毎の定期検査及び特別第一種中間検査時に開放受検

(2) 定期検査の時期

船 舶 名	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回
第十六櫻島丸	H10. 12 (1998. 12)	H15. 12 (2003. 12)	H20. 12 (2008. 12)	H25. 10 (2013. 10)	H30. 11 (2018. 11)	R 5. 11 (2023. 11)	R10. 11 (2028. 11) 予定
第十八櫻島丸	H15. 2 (2003. 2)	H19. 12 (2007. 12)	H24. 11 (2012. 11)	H29. 12 (2017. 12)	R 4. 12 (2022. 12)	R 9. 12 (2027. 12) 予定	R14. 12 (2032. 12) 予定
桜 島 丸	H23. 2 (2011. 2)	H28. 1 (2016. 1)	R 3. 1 (2021. 1)	R 8. 1 (2026. 1) 予定	R13. 1 (2031. 1) 予定	R18. 1 (2036. 1) 予定	R23. 1 (2041. 1) 予定
第二 桜 島 丸	H27. 2 (2015. 2)	R 2. 2 (2020. 2)	R 7. 2 (2025. 2)	R12. 2 (2030. 2) 予定	R17. 2 (2035. 2) 予定	R22. 2 (2040. 2) 予定	R27. 2 (2045. 2) 予定

※中間検査については毎年実施している。

第 4 章 財 務

1 令和6年度 船舶事業の決算概況

船舶事業の経営については、近年の桜島・大隅地域の人口減少や東九州自動車道との競合等の影響により、輸送車両台数が前年度比で減となり、さらには燃料油や人件費の高騰により営業費用が大幅に増加するなど依然として極めて厳しい経営状況が続いています。

このような中、令和6年度は経営の健全化を図るため、第2期経営計画に基づき7月に運賃改定を行い、事業運営の継続に必要な財源を確保しました。また、桜島フェリーを積極的にPRする等、利活用の促進に取り組んだほか、タッチ決済システム機器の導入を行い利便性向上に取り組みました。

(業務量)

輸送旅客人員は2,766,279人で、前年度に比べて62,818人(2.3%)の増、輸送車両台数は953,631台で、前年度に比べて61,755台(6.1%)の減となりました。

(財政状況等)

総収益は2,529,462,729円、総費用は2,629,124,622円となり、99,661,893円の純損失となりました。

収益は、運航収益が、運賃改定による増収効果により、206,512,389円(11.2%)の増、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の受け入れによる一般会計補助金の増により、前年度と比べて97,588,404円(4.0%)増となりました。

費用は、営業費用が、物価高騰の影響により、161,536,526円(6.6%)の増となったものの、前年度に発生した過年度損益修正損の減により、143,534,070円(5.2%)減となりました。

また、資本的収入は、一般会計補助金251,252,000円、国庫補助金4,385,000円を受け入れ、合計255,637,000円の収入となりました。

資本的支出は、建設改良費15,618,900円、企業債償還金310,898,820円、船舶建造年賦支払金191,608,252円の合計518,125,972円を支出しました。

2 損益勘定収支推移（税抜）

収益目別年度比較表

科目	年度	金 額 (円)				
		2	3	4	5	6
船舶事業収益		1,947,655,383	1,873,322,328	2,252,832,166	2,431,874,325	2,529,462,729
営業収益		1,568,850,836	1,609,970,560	1,801,791,755	1,891,304,459	2,100,008,472
運航収益		1,529,815,277	1,570,361,498	1,750,482,386	1,837,746,255	2,044,258,644
旅客収益		254,247,943	269,039,530	331,123,705	381,444,975	463,284,721
手小荷物収益		17,963,181	18,904,957	17,780,747	17,830,066	19,755,764
車両収益		1,257,324,153	1,280,887,011	1,395,097,168	1,428,484,011	1,554,747,002
遊覧船収益		280,000	1,530,000	6,480,766	9,987,203	6,471,157
運航雑収益		24,317,713	24,615,198	34,275,778	35,856,804	37,931,536
附帯施設収益		14,717,846	14,993,864	17,033,591	17,701,400	17,818,292
営業外収益		289,399,927	258,748,859	448,769,446	392,432,666	399,829,772
受取利息		71,487	0	0	0	0
他会計負担金		15,869,000	15,537,000	14,570,000	13,200,000	14,749,000
他会計補助金		54,695,000	50,393,000	165,704,000	76,777,000	121,537,000
長期前受金戻入		164,730,359	165,344,644	221,181,321	259,062,928	248,714,522
雑収益		7,367,395	5,479,201	4,964,599	5,012,023	4,829,250
国庫補助金		46,666,686	21,995,014	42,349,526	38,380,715	10,000,000
特別利益		89,404,620	4,602,909	2,270,965	148,137,200	29,624,485
過年度損益修正益		0	1,277,909	105,065	148,137,200	457,698
その他特別利益		89,404,620	3,325,000	2,165,900	0	29,166,787

費用目別年度比較表

科目	年度	金 額 (円)				
		2	3	4	5	6
船舶事業費		2,590,824,109	2,578,810,792	2,605,398,675	2,772,658,692	2,629,124,622
営業費用		2,546,814,139	2,557,507,221	2,572,011,703	2,440,673,470	2,602,209,996
旅客・車両航送取扱費		565,047	990,765	1,570,326	986,447	1,678,484
動力費		232,814,067	326,911,590	341,087,929	298,305,832	313,526,136
船舶運航費		865,801,361	834,121,728	814,732,186	749,333,267	784,138,190
安全運航管理費		132,418,062	132,403,536	131,476,850	125,912,645	131,846,972
船舶修繕費		11,752,435	10,533,617	7,897,776	6,323,083	7,507,081
船舶検査費		211,901,060	200,997,622	210,638,837	178,833,303	210,370,401
業務費		287,350,789	297,397,695	312,515,405	319,565,966	323,334,450
営業費		54,001,545	51,900,526	50,886,084	47,999,747	52,488,032
遊覧船運航費		1,028,900	50,800	3,198,799	1,556,650	1,537,376
航路附属施設管理費		88,704,816	55,679,772	58,891,905	62,637,274	90,418,935
一般管理費		223,757,953	209,456,017	205,144,322	181,868,359	225,473,315
減価償却費		436,432,634	437,005,153	433,670,666	466,267,450	458,590,715
資産減耗費		285,470	58,400	300,618	1,083,447	1,299,909
営業外費用		29,260,319	19,516,653	30,407,090	23,088,780	26,914,626
支払利息		18,937,002	17,752,040	17,661,506	18,137,634	18,320,416
雑支出		10,323,317	1,764,613	12,745,584	4,951,146	8,594,210
特別損失		14,749,651	1,786,918	2,979,882	308,896,442	0
過年度損益修正損		58,110	296,918	2,979,882	296,663,449	0
その他特別損失		14,691,541	1,490,000	0	0	0
固定資産売却損		0	0	0	12,232,993	0

構 成 比 (%)					対 前 年 度 比 (%)				
2	3	4	5	6	2	3	4	5	6
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	84.7	96.2	120.3	107.9	104.0
80.5	85.9	80.0	77.8	83.0	76.9	102.6	111.9	105.0	111.0
78.5	83.8	77.7	75.6	80.8	77.0	102.7	111.5	105.0	111.2
13.0	14.3	14.7	15.7	18.3	62.2	105.8	123.1	115.2	121.5
0.9	1.0	0.8	0.7	0.8	99.5	105.2	94.1	100.3	110.8
64.6	68.4	61.9	58.8	61.5	81.6	101.9	108.9	102.4	108.8
0.0	0.1	0.3	0.4	0.2	1.4	546.4	423.6	154.1	64.8
1.2	1.3	1.5	1.5	1.5	69.4	101.2	139.2	104.6	105.8
0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	83.8	101.9	113.6	103.9	100.7
14.9	13.8	19.9	16.1	15.8	122.5	89.4	173.4	87.4	101.9
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	皆 増	皆 減	—	—	—
0.8	0.8	0.6	0.5	0.6	99.4	97.9	93.8	90.6	111.7
2.8	2.7	7.4	3.2	4.8	107.5	92.1	328.8	46.3	158.3
8.5	8.8	9.8	10.6	9.8	100.5	100.4	133.8	117.1	96.0
0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	133.6	74.4	90.6	101.0	96.4
2.4	1.2	1.9	1.6	0.4	皆 増	47.1	192.5	90.6	26.1
4.6	0.3	0.1	6.1	1.2	378.6	5.1	49.3	6,523.1	20.0
0.0	0.1	0.0	6.1	0.0	皆 減	皆 増	8.2	140,995.8	0.3
4.6	0.2	0.1	0.0	1.2	382.4	3.7	65.1	皆 減	皆 増

構 成 比 (%)					対 前 年 度 比 (%)				
2	3	4	5	6	2	3	4	5	6
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.8	99.5	101.0	106.4	94.8
98.3	99.2	98.7	88.0	99.0	100.5	100.4	100.6	94.9	106.6
0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	42.3	175.3	158.5	62.8	170.2
9.0	12.7	13.1	10.8	11.9	79.4	140.4	104.3	87.5	105.1
33.4	32.4	31.3	27.0	29.8	97.7	96.3	97.7	92.0	104.6
5.1	5.1	5.0	4.5	5.0	130.5	100.0	99.3	95.8	104.7
0.5	0.4	0.3	0.2	0.3	92.5	89.6	75.0	80.1	118.7
8.2	7.8	8.1	6.5	8.0	100.5	94.9	104.8	84.9	117.6
11.1	11.5	12.0	11.5	12.3	98.3	103.5	105.1	102.3	101.2
2.1	2.0	1.9	1.7	2.0	87.0	96.1	98.0	94.3	109.4
0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	6.5	4.9	6,296.8	48.7	98.8
3.4	2.2	2.3	2.3	3.5	152.1	62.8	105.8	106.4	144.4
8.6	8.1	7.9	6.6	8.6	91.0	93.6	97.9	88.7	124.0
16.9	17.0	16.6	16.8	17.4	123.0	100.1	99.2	107.5	98.4
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	144.4	20.5	514.8	360.4	120.0
1.1	0.7	1.2	0.8	1.0	152.2	66.7	155.8	75.9	116.6
0.7	0.7	0.7	0.6	0.7	100.6	93.7	99.5	102.7	101.0
0.4	0.0	0.5	0.2	0.3	2,574.2	17.1	722.3	38.8	173.6
0.6	0.1	0.1	11.2	0.0	89.8	12.1	166.8	10,366.1	皆 減
0.0	0.0	0.1	10.7	0.0	25.0	511.0	1,003.6	9,955.5	皆 減
0.6	0.1	0.0	0.0	0.0	90.7	10.1	皆 減	—	—
0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	—	—	—	皆 増	皆 減

3 資本勘定収支推移 (税込)

収入

年度 科目		金 額 (円)					構 成 比 (%)					対 前 年 度 比 (%)				
		2	3	4	5	6	2	3	4	5	6	2	3	4	5	6
資本の収入		125,459,000	123,851,000	167,956,000	268,353,000	255,637,000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	8.1	98.7	135.6	159.8	95.3
補助金		125,459,000	123,851,000	167,956,000	196,433,000	255,637,000	100.0	100.0	100.0	73.2	100.0	102.4	98.7	135.6	117.0	130.1
企業債		0	0	0	33,200,000	0	0.0	0.0	0.0	12.4	0.0	皆 減	—	—	皆 増	皆 減
固定資産売却代金		0	0	0	38,720,000	0	0.0	0.0	0.0	14.4	0.0	—	—	—	皆 増	皆 減

支出

年度 科目		金 額 (円)					構 成 比 (%)					対 前 年 度 比 (%)				
		2	3	4	5	6	2	3	4	5	6	2	3	4	5	6
資本の支出		258,739,762	247,702,816	336,342,530	429,954,570	518,125,972	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	14.9	95.7	135.8	127.8	120.5
建設改良費		12,331,000	0	430,100	37,089,000	15,618,900	4.8	0.0	0.1	8.6	3.0	0.8	皆 減	皆 増	8,623.3	42.1
企業債償還金		147,666,666	148,960,720	237,170,334	294,123,474	310,898,820	57.1	60.1	70.5	68.4	60.0	100.9	100.9	159.2	124.0	105.7
船舶建造年賦支払金		98,742,096	98,742,096	98,742,096	98,742,096	191,608,252	38.1	39.9	29.4	23.0	37.0	100.0	100.0	100.0	100.0	194.0

4 損益計算比較

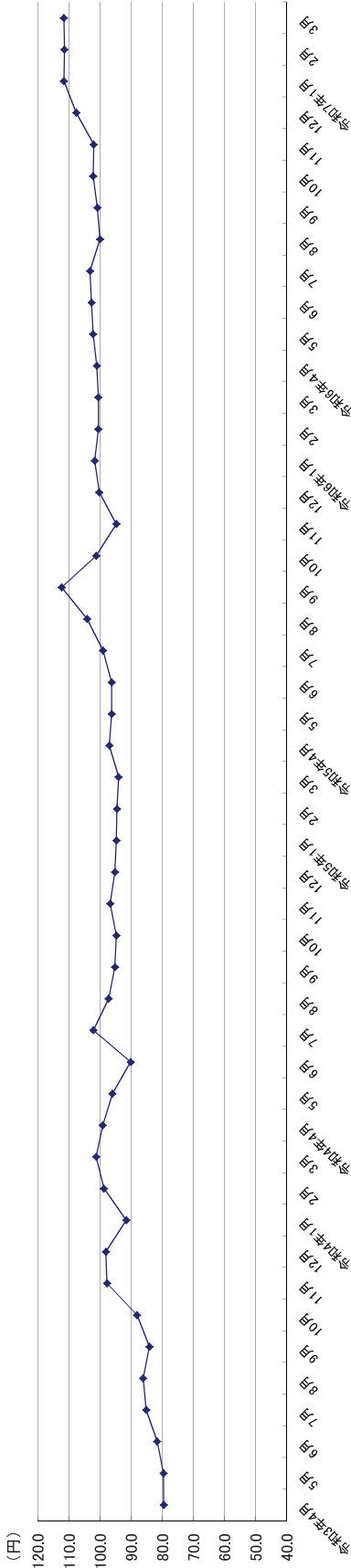
年 度 項 目	金 額 (円)						対 前 年 度 比 (%)					
	2	3	4	5	6		2	3	4	5	6	
1 営業収益	1,568,850,836	1,609,970,560	1,801,791,755	1,891,304,459	2,100,008,472		76.9	102.6	111.9	105.0	111.0	
2 営業費用	2,546,814,139	2,557,507,221	2,572,011,703	2,440,673,470	2,602,209,996		100.5	100.4	100.6	94.9	106.6	
営業損益	△ 977,963,303	△ 947,536,661	△ 770,219,948	△ 549,369,011	△ 502,201,524		—	—	—	—	—	
3 営業外収益	289,399,927	258,748,859	448,769,446	392,432,666	399,829,772		122.5	89.4	173.4	87.4	101.9	
4 営業外費用	29,260,319	19,516,653	30,407,090	23,088,780	26,914,626		152.2	66.7	155.8	75.9	116.6	
経常損益	△ 717,823,695	△ 708,304,455	△ 351,857,592	△ 180,025,125	△ 129,286,378		—	—	—	—	—	
5 特別利益	89,404,620	4,602,909	2,270,965	148,137,200	29,624,485		378.6	5.1	49.3	6,523.1	20.0	
6 特別損失	14,749,651	1,786,918	2,979,882	308,896,442	0		89.8	12.1	166.8	10,366.1	皆 減	
当年度純損益	△ 643,168,726	△ 705,488,464	△ 352,566,509	△ 340,784,367	△ 99,661,893		—	—	—	—	—	

5 費用構成比較

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	金 額	比 率	金 額	比 率	金 額	比 率	金 額	比 率	金 額	比 率
船 舶 事 業 費	2,590,824,109	100.0	2,578,810,792	100.0	2,605,398,675	100.0	2,772,658,692	100.0	2,629,124,622	100.0
営 業 費 用	2,546,814,139	98.3	2,557,507,221	99.2	2,572,011,703	98.7	2,440,673,470	88.0	2,602,209,996	99.0
人 件 費	1,217,603,217	47.0	1,181,110,153	45.8	1,153,761,039	44.3	1,063,359,483	38.3	1,153,874,759	43.9
動 力 費	233,164,411	9.0	327,148,381	12.7	341,512,070	13.1	298,783,270	10.8	314,118,018	12.0
修 繕 費	210,772,509	8.1	175,883,968	6.8	189,007,036	7.3	163,399,234	5.9	203,762,965	7.8
その他の物件費	448,841,368	17.3	436,359,566	16.9	454,060,892	17.4	448,864,033	16.2	471,863,539	17.9
減価償却費	436,432,634	16.9	437,005,153	17.0	433,670,666	16.6	466,267,450	16.8	458,590,715	17.4
営業外費用	29,260,319	1.1	19,516,653	0.7	30,407,090	1.2	23,088,780	0.8	26,914,626	1.0
特別損失	14,749,651	0.6	1,786,918	0.1	2,979,882	0.1	308,896,442	11.2	0	0.0

【参考】A重油購入価格の推移

(1) 購入単価の推移（税抜）



(2) 年間消費量及び平均単価（金額は税抜）

令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
月	単価(円)	消費量(t)	金額(円)	月	単価(円)	消費量(t)	金額(円)	月	単価(円)	消費量(t)	金額(円)	月	単価(円)	消費量(t)	金額(円)
4月	79.5	300,000	23,622,627	4月	99.1	279,000	27,438,060	4月	97.0	222,000	21,367,007	4月	101.0	227,000	22,756,189
5月	79.6	255,000	20,104,200	5月	96.0	262,000	24,952,880	5月	96.2	244,000	23,287,935	5月	102.2	275,000	27,896,570
6月	81.6	320,000	25,868,800	6月	90.1	317,000	28,320,780	6月	96.2	273,000	26,056,270	6月	102.7	243,000	24,771,420
7月	85.1	319,000	26,905,087	7月	102.1	292,000	29,592,480	7月	99.0	236,000	23,185,215	7月	103.2	252,000	25,816,019
8月	86.1	316,000	26,967,440	8月	97.2	307,000	29,607,680	8月	104.1	250,000	25,837,302	8月	100.0	220,000	21,835,079
9月	84.1	302,000	25,168,680	9月	95.2	312,000	29,465,880	9月	112.3	246,000	27,440,567	9月	100.8	284,000	28,411,930
10月	88.1	264,000	23,057,760	10月	94.7	269,000	25,275,260	10月	101.2	255,000	25,615,318	10月	102.2	267,000	27,085,619
11月	97.7	319,000	30,923,860	11月	96.7	293,000	28,111,020	11月	94.7	235,000	22,077,050	11月	102.0	197,000	19,944,850
12月	98.1	321,000	31,247,396	12月	95.2	301,000	28,427,669	12月	100.2	247,000	24,561,680	12月	107.6	280,000	29,915,770
1月	91.5	283,000	25,679,420	1月	94.7	286,000	26,866,840	1月	101.7	217,000	21,904,597	1月	111.6	252,000	27,931,680
2月	98.7	328,000	32,124,320	2月	94.5	306,000	28,684,440	2月	100.5	279,000	27,827,460	2月	111.4	265,000	29,319,600
3月	101.2	303,000	30,433,320	3月	94.0	297,000	27,692,880	3月	100.5	239,000	23,838,435	3月	111.6	198,000	21,946,320
合 計		3,630,000	322,102,910	合 計		3,521,000	334,435,869	合 計		2,943,000	292,998,836	合 計		2,960,000	307,631,046
年度平均単価 88,734 円				年度平均単価 94,983 円				年度平均単価 99,558 円				年度平均単価 103,929 円			
対前年度比				対前年度比				対前年度比				対前年度比			
消 費 量		差 (増減)	比 率			差 (増減)	比 率			差 (増減)	比 率			差 (増減)	比 率
101,000 t	61,000 t		101.71%	109,000 t	△ 109,000 t		97.00%	578,000 t		△ 578,000 t		83.58%	17,000 t		100.58%
24,946円	24,946円		139.11%	6,249円		107.04%		4,575円				104.82%	4,371円		104.39%
94,445,143 円	94,445,143 円		141.49%	12,332,959 円		103.83%		△41,437,033 円				87.61%	14,632,210 円		104.99%

※各月の単価には地球環境対策税の上乗せ分0.76円を含むが、金額は定期航路に使用した分について0.76円を差し引いている。

6 貸借対照表比較

資 産 の 部

勘 定 科 目	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
	(令和3年3月31日)	(令和4年3月31日)	(令和5年3月31日)
1 固 定 資 産			
(1) 有 形 固 定 資 産			
イ 船舶（帳簿原価）	7,386,876,178	7,386,876,178	7,386,876,178
減価償却累計額	4,931,544,658	5,174,305,041	5,417,065,424
残高（帳簿価額）	2,455,331,520	2,212,571,137	1,969,810,754
ロ 土 地	714,597,368	714,597,368	714,597,368
ハ 建 物	1,484,904,152	1,484,904,152	1,484,904,152
減価償却累計額	185,772,413	237,153,211	288,533,054
残 高	1,299,131,739	1,247,750,941	1,196,371,098
ニ 構 築 物	2,822,964,101	2,822,964,101	2,822,964,101
減価償却累計額	672,962,682	757,844,405	840,303,998
残 高	2,150,001,419	2,065,119,696	1,982,660,103
ホ 接 岸 施 設	506,003,034	506,003,034	506,003,034
減価償却累計額	220,537,629	227,123,207	233,708,785
残 高	285,465,405	278,879,827	272,294,249
ヘ 機 械 及 び 装 置	933,746,992	933,746,992	933,746,992
減価償却累計額	230,785,617	271,739,437	312,674,849
残 高	702,961,375	662,007,555	621,072,143
ト 車 両 運 搬 具	14,336,660	14,336,660	10,777,660
減価償却累計額	13,216,187	13,513,699	10,199,827
残 高	1,120,473	822,961	577,833
チ 工具、器具及び備品	96,580,252	95,412,252	94,362,252
減価償却累計額	55,759,944	64,795,683	72,909,412
残 高	40,820,308	30,616,569	21,452,840
有 形 固 定 資 産 合 計	7,649,429,607	7,212,366,054	6,778,836,388
(2) 無 形 固 定 資 産			
イ 電 話 加 入 権	80,000	80,000	80,000
無 形 固 定 資 産 合 計	80,000	80,000	80,000
(3) 投資その他の資産			
イ そ の 他 投 資	150,000	150,000	150,000
投資その他の資産合計	150,000	150,000	150,000
固 定 資 産 合 計	7,649,659,607	7,212,596,054	6,779,066,388
2 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金	420,310,027	292,633,336	326,862,664
(2) 未 収 金	94,326,452	49,346,619	84,573,636
(3) 貯 蔵 品	21,562,732	22,586,159	21,097,410
(4) 保管預り有価証券	3,000,000	3,000,000	3,000,000
流 動 資 産 合 計	539,199,211	367,566,114	435,533,710
資 産 合 計	8,188,858,818	7,580,162,168	7,214,600,098

(単位：円)

令和5年度末	令和6年度末	対前年度末 (%)				
(令和6年3月31日)	(令和7年3月31日)	2	3	4	5	6
6,438,566,312	6,438,566,312	100.0	100.0	100.0	87.2	100.0
5,092,676,310	5,372,519,457	105.2	104.9	104.7	94.0	105.5
1,345,890,002	1,066,046,855	91.0	90.1	89.0	68.3	79.2
714,597,368	714,597,368	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1,484,904,152	1,484,904,152	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
339,904,862	391,276,670	138.2	127.7	121.7	117.8	115.1
1,144,999,290	1,093,627,482	96.2	96.0	95.9	95.7	95.5
2,821,522,301	2,821,522,301	98.8	100.0	100.0	99.9	100.0
919,779,534	992,493,313	110.3	112.6	110.9	109.5	107.9
1,901,742,767	1,829,028,988	95.7	96.1	96.0	95.9	96.2
506,003,034	506,003,034	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
240,294,363	246,879,941	103.1	103.0	102.9	102.8	102.7
265,708,671	259,123,093	97.7	97.7	97.6	97.6	97.5
946,114,947	945,008,947	99.1	100.0	100.0	101.3	99.9
336,630,285	373,033,972	117.1	117.7	115.1	107.7	110.8
609,484,662	571,974,975	94.4	94.2	93.8	98.1	93.8
11,277,660	11,277,660	100.0	100.0	75.2	104.6	100.0
10,218,277	10,461,727	102.4	102.3	75.5	100.2	102.4
1,059,383	815,933	78.3	73.4	70.2	183.3	77.0
97,512,252	106,467,252	106.9	98.8	98.9	103.3	109.2
79,339,936	84,736,702	110.4	116.2	112.5	108.8	106.8
18,172,316	21,730,550	102.4	75.0	70.1	84.7	119.6
6,001,654,459	5,556,945,244	94.6	94.3	94.0	88.5	92.6
80,000	80,000	27.5	100.0	100.0	100.0	100.0
80,000	80,000	27.5	100.0	100.0	100.0	100.0
150,000	150,000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
150,000	150,000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
6,001,884,459	5,557,175,244	94.6	94.3	94.0	88.5	92.6
445,518,029	376,424,165	24.4	69.6	111.7	136.3	84.5
89,599,582	82,101,449	96.4	52.3	171.4	105.9	91.6
28,169,816	31,933,730	94.9	104.7	93.4	133.5	113.4
3,000,000	3,000,000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
566,287,427	493,459,344	29.2	68.2	118.5	130.0	87.1
6,568,171,886	6,050,634,588	82.4	92.6	95.2	91.0	92.1

負 債 の 部

勘 定 科 目	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
	(令和3年3月31日)	(令和4年3月31日)	(令和5年3月31日)
3 固 定 負 債			
(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	4,978,503,408	4,749,560,020	4,463,691,900
ロ その他の企業債	58,188,629	469,961,683	746,706,329
企 業 債 合 計	5,036,692,037	5,219,521,703	5,210,398,229
(2) 引 当 金			
イ 退職給付引当金	557,912,894	600,801,667	686,277,613
ロ 修繕引当金	3,385,347	3,385,347	3,385,347
ハ 特別修繕引当金	38,300,000	41,400,000	63,800,000
引 当 金 合 計	599,598,241	645,587,014	753,462,960
(3) その他固定負債			
イ 船舶建造年賦支払金	625,313,660	512,496,296	399,678,932
固 定 負 債 合 計	6,261,603,938	6,377,605,013	6,363,540,121
4 流 動 負 債			
(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	140,762,083	228,943,388	285,868,120
ロ その他の企業債	8,198,637	8,226,946	8,255,354
企 業 債 合 計	148,960,720	237,170,334	294,123,474
(2) 未 払 金	202,732,527	132,882,098	123,850,135
(3) 預 り 金	8,368,545	8,167,472	8,534,957
(4) 前 受 金	3,204,000	3,420,000	3,270,000
(5) 引 当 金			
イ 賞与引当金	87,111,000	82,865,000	83,994,000
(6) 預り有価証券	3,000,000	3,000,000	3,000,000
(7) その他流動負債			
イ 船舶建造年賦支払金	112,817,364	112,817,364	112,817,364
流 動 負 債 合 計	566,194,156	580,322,268	629,589,930
5 繰 延 収 益			
(1) 長 期 前 受 金			
イ 国庫補助金	922,768,560	922,768,560	922,768,560
ロ 他会計補助金	1,051,937,556	1,169,869,559	1,327,650,281
ハ 船舶建造助成金	150,183,557	164,258,825	178,334,093
ニ 受贈財産評価額	700,000	700,000	700,000
長 期 前 受 金 合 計	2,125,589,673	2,257,596,944	2,429,452,934
(2) 収 益 化 累 計 額			
イ 国庫補助金	△ 389,093,656	△ 433,495,145	△ 477,894,342
ロ 他会計補助金	△ 825,042,831	△ 931,700,928	△ 1,093,245,154
ハ 船舶建造助成金	△ 149,829,307	△ 163,904,575	△ 177,979,843
ニ 受贈財産評価額	△ 419,580	△ 629,370	△ 665,000
収 益 化 累 計 額 合 計	△ 1,364,385,374	△ 1,529,730,018	△ 1,749,784,339
繰 延 収 益 合 計	761,204,299	727,866,926	679,668,595
負 債 合 計	7,589,002,393	7,685,794,207	7,672,798,646

(単位：円)

令和5年度末	令和6年度末	対前年度末 (%)				
(令和6年3月31日)	(令和7年3月31日)	2	3	4	5	6
4,194,276,939	3,796,142,150	97.3	95.4	94.0	94.0	90.5
948,422,470	905,684,187	87.7	807.7	158.9	127.0	95.5
5,142,699,409	4,701,826,337	97.1	103.6	99.8	98.7	91.4
720,985,058	805,522,899	119.5	107.7	114.2	105.1	111.7
3,385,347	3,385,347	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
63,570,000	65,457,000	108.8	108.1	154.1	99.6	103.0
787,940,405	874,365,246	118.6	107.7	116.7	104.6	111.0
174,446,418	142,567,914	84.7	82.0	78.0	43.6	81.7
6,105,086,232	5,718,759,497	97.4	101.9	99.8	95.9	93.7
302,614,961	398,134,789	100.9	162.6	124.9	105.9	131.6
8,283,859	42,738,283	100.3	100.3	100.3	100.3	515.9
310,898,820	440,873,072	100.9	159.2	124.0	105.7	141.8
153,757,256	170,506,859	18.3	65.5	93.2	124.1	110.9
9,150,651	12,618,213	91.6	97.6	104.5	107.2	137.9
2,676,000	2,556,000	97.1	106.7	95.6	81.8	95.5
85,041,000	89,739,000	105.8	95.1	101.4	101.2	105.5
3,000,000	3,000,000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
225,232,514	31,878,504	100.0	100.0	100.0	199.6	14.2
789,756,241	751,171,648	38.6	102.5	108.5	125.4	95.1
922,768,560	925,800,560	100.0	100.0	100.0	100.0	100.3
1,512,875,428	1,749,751,398	112.8	111.2	113.5	114.0	115.7
192,409,361	226,033,623	110.3	109.4	108.6	107.9	117.5
1,200,000	1,200,000	100.0	100.0	100.0	171.4	100.0
2,629,253,349	2,902,785,581	106.7	106.2	107.6	108.2	110.4
△ 570,451,971	△ 618,618,306	112.9	111.4	110.2	119.4	108.4
△ 1,393,768,939	△ 1,599,182,911	115.7	112.9	117.3	127.5	114.7
△ 192,055,111	△ 204,746,113	110.4	109.4	108.6	107.9	106.6
△ 665,000	△ 890,000	200.0	150.0	105.7	100.0	133.8
△ 2,156,941,021	△ 2,423,437,330	114.3	112.1	114.4	123.3	112.4
472,312,328	479,348,251	95.4	95.6	93.4	69.5	101.5
7,367,154,801	6,949,279,396	87.3	101.3	99.8	96.0	94.3

資 本 の 部

勘 定 科 目	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
	(令和3年3月31日)	(令和4年3月31日)	(令和5年3月31日)
6 資 本 金			
(1) 資 本 金	1,775,474,580	1,775,474,580	1,775,474,580
資 本 金 合 計	1,775,474,580	1,775,474,580	1,775,474,580
7 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
イ 国 庫 補 助 金	56,097,000	56,097,000	56,097,000
ロ 県 補 助 金	126,144,000	126,144,000	126,144,000
ハ 受 贈 財 産 評 価 額	513,310	513,310	513,310
資 本 剰 余 金 合 計	182,754,310	182,754,310	182,754,310
(2) 欠 損 金			
イ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金	△ 1,358,372,465	△ 2,063,860,929	△ 2,416,427,438
剰 余 金 合 計	△ 1,175,618,155	△ 1,881,106,619	△ 2,233,673,128
資 本 合 計	599,856,425	△ 105,632,039	△ 458,198,548
負 債 資 本 合 計	8,188,858,818	7,580,162,168	7,214,600,098

(単位：円)

令和5年度末	令和6年度末	対前年度末 (%)				
(令和6年3月31日)	(令和7年3月31日)	2	3	4	5	6
1, 775, 474, 580	1, 775, 474, 580	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0
1, 775, 474, 580	1, 775, 474, 580	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0
56, 097, 000	56, 097, 000	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0
126, 144, 000	126, 144, 000	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0
513, 310	513, 310	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0
182, 754, 310	182, 754, 310	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0
△ 2, 757, 211, 805	△ 2, 856, 873, 698	189. 9	151. 9	117. 1	114. 1	103. 6
△ 2, 574, 457, 495	△ 2, 674, 119, 388	220. 8	160. 0	118. 7	115. 3	103. 9
△ 798, 982, 915	△ 898, 644, 808	48. 3	△ 17. 6	433. 8	174. 4	112. 5
6, 568, 171, 886	6, 050, 634, 588	82. 4	92. 6	95. 2	91. 0	92. 1

7 企業経営分析表

イ 財政状態

(単位：％、ポイント)

区分	年度	算式	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	対前年度増減			
			令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和2	令和3	令和4	令和5
1	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	95.23	63.34	69.18	71.70	65.69	△ 30.89	△ 31.89	5.84	2.52
2	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$	562.04	1,159.14	3,060.94	△ 1,837.29	△ 1,325.36	165.80	597.10	1,901.80	△ 4,898.23
3	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本合計+固定負債+繰延収益}} \times 100$	100.35	103.04	102.95	103.87	104.86	4.87	2.69	△ 0.09	0.92
4	有形固定資産価値償却率	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$	47.64	50.94	54.20	57.04	60.68	3.15	3.30	3.26	2.84
5	船舶減価償却率	$\frac{\text{船舶減価償却累計額}}{\text{償却対象資産のうち船舶の帳簿原価}} \times 100$	66.76	70.05	73.33	79.10	83.44	3.29	3.29	3.28	5.77
6	当座比率 (酸性試験比率)	$\frac{\text{現金預金+(未収金-貸倒引当金)}}{\text{流動負債}} \times 100$	90.89	58.93	65.35	67.76	61.04	△ 33.48	△ 31.96	6.42	2.41
7	負債比率	$\frac{\text{負債合計}}{\text{自己資本}} \times 100$	557.58	1,235.19	3,464.49	△ 2,255.22	△ 1,657.37	131.63	677.61	2,229.30	△ 5,719.71
8	流動負債比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{自己資本}} \times 100$	41.60	93.26	284.28	△ 241.76	△ 179.15	△ 30.25	51.66	191.02	△ 526.04
9	固定負債比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{自己資本}} \times 100$	460.05	1,024.95	2,873.32	△ 1,868.88	△ 1,363.89	145.05	564.90	1,848.37	△ 4,742.20

ロ 営業状態

(単位：圓、％、ポイント)

区分	年度	算式	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	対前年度増減			
			令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和2	令和3	令和4	令和5
10	自己資本回転率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{(期首自己資本合計+期末自己資本合計)}/2} \times 100$	0.92	1.62	4.27	△ 35.96	△ 5.63	△ 0.01	0.70	2.65	△ 40.23
11	総資本利益率	$\frac{\text{純利益(△純損失)}}{\text{(期首負債資本合計+期末負債資本合計)}/2} \times 100$	△ 7.10	△ 8.95	△ 4.77	△ 4.95	△ 1.58	△ 4.10	△ 1.85	4.18	△ 0.18
12	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	75.18	72.64	86.47	87.71	96.21	△ 14.25	△ 2.54	13.83	1.24
13	経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	72.13	72.51	86.48	92.69	95.08	△ 16.96	0.38	13.97	6.21
14	営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	61.60	62.95	70.05	77.49	80.70	△ 18.84	1.35	7.10	7.44
15	他会計負担比率	$\frac{\text{他会計補助金+他会計負担金}}{\text{経常費用}} \times 100$	2.74	2.56	6.93	3.65	5.18	0.12	△ 0.18	4.37	△ 3.28
16	人件費比率	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{総費用}} \times 100$	46.27	45.09	43.65	37.81	43.26	0.57	△ 1.18	△ 1.44	△ 5.84
17	不良債務比率	$\frac{\text{(流動負債-流動負債のうち債務改良等の財源に充てられたるための企業債)-流動資産}}{\text{営業収益}} \times 100$	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※自己資本=資本金+剰余金+繰延収益

8 企業債明細書

種 類	発行年月日	発行総額	償 還 高		未償還残高	発行価額	利率 (年)	償還終期	備 考
			当年度償還高	償還高累計					
建設改良費等の財源に充てらるため の企業債	桜島丸建造	579,800,000	51,166,602	527,966,070	51,833,930	579,800,000	1.300	令和8.3.1	財務省
	第二桜島丸建造	871,200,000	72,770,687	501,845,329	369,354,671	871,200,000	0.500	令和12.3.1	財務省
	桜島港フェリー施設整備事業	1,340,700,000	87,598,851	261,749,906	1,078,950,094	1,340,700,000	0.400	令和19.3.1	財務省
	桜島港フェリー施設整備事業	846,900,000	55,448,909	110,731,844	736,168,156	846,900,000	0.300	令和20.3.1	財務省
	桜島港フェリー施設整備事業	542,000,000	35,629,912	35,629,912	506,370,088	542,000,000	0.200	令和21.3.1	財務省
	桜島港フェリー施設整備事業	1,418,400,000	0	0	1,418,400,000	1,418,400,000	0.100	令和22.3.1	財務省
	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業	33,200,000	0	0	33,200,000	33,200,000	0.800	令和21.3.20	地方公共団体金融機構
	桜島港旧フェリーターミナル解体	82,700,000	8,283,859	49,277,530	33,422,470	82,700,000	0.345	令和11.3.25	鹿児島銀行
その他の企業債	特別減収対策企業債	420,000,000	0	0	420,000,000	420,000,000	0.300	令和19.3.20	地方公共団体金融機構
	特別減収対策企業債	285,000,000	0	0	285,000,000	285,000,000	0.800	令和20.3.20	地方公共団体金融機構
	特別減収対策企業債	210,000,000	0	0	210,000,000	210,000,000	0.800	令和21.3.20	地方公共団体金融機構
	合 計	6,629,900,000	310,898,820	1,487,200,591	5,142,699,409	6,629,900,000			

第 5 章 沿 革

1 桜島フェリーのあゆみ

年 月 日	出 来 事																									
昭和 9 年 12 月 1 日	●国より 2 万円を借り（当時の村税収入年間 30,000 円、船舶収入 12,544 円）部落船 14 隻を 23,000 円で買収し、その内老朽船や小型船を漸次とう汰して比較的大型船のみを残し発着時刻及び運賃を定め、統一ある運航を開始 当時の運賃：白浜－鹿児島 15 銭 赤生原－鹿児島 10 銭																									
昭和 10 年	●郵便物通送料 従来、上原伊佐彦氏が運送していたが、昭和 9 年西桜島村が交通事業を開始するに当たり、所有船 2 隻を村に売却したため、昭和 10 年 6 月 21 日通第 4081 号をもって郵便物通送について契約。昭和 10 年 7 月 1 日より実施																									
昭和 11 年	●鷹島丸を購入 G/T35.91 M SD58 定員 107 名 昭和 8.3 進水 ●溶岩道路開通：垂水－袴腰間																									
昭和 12 年	●えびす丸購入 G/T40.22 L 18.79 B3.84 D1.19 M SD10 定員 71 名 昭和 6.8 進水 9 ノット																									
昭和 14 年 10 月 28 日	●袴腰港を起点とした船車連絡運輸を開始（袴腰－松浦間） 当時の袴腰－鹿児島間運賃 25 銭																									
昭和 15 年 5 月 10 日	●鹿児島県知事宛 船賃願提出 昭和 16 年 12 月 12 日許可 <table><tr><td>使用船</td><td>G/T</td><td>定員</td><td>ME</td><td>速力</td></tr><tr><td>第一桜島丸</td><td>16.48</td><td>69</td><td>SD32</td><td>8</td></tr><tr><td>第二桜島丸</td><td>10.97</td><td>40</td><td>SD21</td><td>7</td></tr><tr><td>えびす丸</td><td>40.22</td><td>71</td><td>SD10</td><td>9</td></tr><tr><td>八重丸</td><td>4.99</td><td></td><td>SD12</td><td></td></tr></table> 月間運航回数：袴腰－鹿児島間 210 回 各部落－鹿児島間 60 回	使用船	G/T	定員	ME	速力	第一桜島丸	16.48	69	SD32	8	第二桜島丸	10.97	40	SD21	7	えびす丸	40.22	71	SD10	9	八重丸	4.99		SD12	
使用船	G/T	定員	ME	速力																						
第一桜島丸	16.48	69	SD32	8																						
第二桜島丸	10.97	40	SD21	7																						
えびす丸	40.22	71	SD10	9																						
八重丸	4.99		SD12																							
昭和 16 年 5 月	●桜島丸（貨物自動車 3 台搭載可能）を建造 工事費 9 万円 建造地 熊本県天草郡御領村 松本三代松																									
昭和 17 年 2 月 25 日 昭和 17 年 4 月 1 日	●使用船：えびす丸・鷹島丸・桜島丸（桜島－鹿児島間） ●旅客運賃改定 30 銭																									
昭和 18 年 9 月	●鹿児島・桜島港 自動車搭載用岸壁完成 着工：昭和 16 年 11 月 工事費：15 万円 ※潮の干満により適宜移動して自動車を搭載できるよう岸壁の高さを数段階にする																									
昭和 19 年 7 月 1 日	●自動車航送開始 使用船：桜島丸																									
昭和 20 年 昭和 20 年 3 月 9 日	●第五姫戸丸購入 G/T34.36 L16.95 B3.73 D1.68 定員 99 名 M SD46 昭 7.6 進水 ●旅客運賃改定 50 銭																									
昭和 21 年 1 月 1 日	●旅客運賃改定 1 円																									
昭和 22 年 3 月 1 日 昭和 22 年 3 月 5 日	●旅客運賃改定 2 円 ●使用船：桜島丸・第五姫戸丸・八重丸 運航回数：1 日 12 便なるも燃料規制により 1 日 4 回、月間 120 回																									
昭和 22 年 9 月 8 日	●旅客運賃改定 5 円																									
昭和 23 年 4 月 28 日	●旅客運賃改定 15 円 引続き 5 月 18 日 26 円に改定																									
昭和 24 年 10 月 22 日	●旅客定期航路事業免許申請																									

年 月 日	出 来 事
昭和 25 年 1 月 4 日	●旅客定期航路事業免許（九州第 94 号） - 使用船：櫻島丸・第二櫻島丸・第五姫戸丸 - 運航回数 - 武－袴腰－鹿児島航路 1 日 6 回[櫻島丸・第五姫戸丸] - 白浜－鹿児島航路 1 日 2 回[第二櫻島丸] - 白浜－武航路 1 日 2 回[第二櫻島丸]
昭和 25 年 6 月 20 日	●運航回数増 武－袴腰－鹿児島航路（1 日 8 回）
昭和 26 年 1 月 1 日 昭和 26 年 5 月 20 日	●運航回数増 武－袴腰－鹿児島航路（1 日 12 回） ●第三櫻島丸建造 - 使用船舶変更 - 武－袴腰－鹿児島航路[櫻島丸・第三櫻島丸・第五姫戸丸] - 白浜－鹿児島航路[第二櫻島丸]、白浜－武航路 [第二櫻島丸]
昭和 26 年 10 月	●ルース台風による被害 第一櫻島丸大破 第五姫戸丸沈没
昭和 27 年 7 月 21 日 昭和 27 年 9 月 15 日 昭和 27 年 10 月 20 日	●事業計画変更（航路・使用船・発着時刻） ●使用船変更（船名・要目） ●運航回数増（1 日 13 回）発着時刻変更
昭和 28 年 9 月 1 日	●第五櫻島丸建造 - 自動車搭載可能台数 バス 4 台 使用船：第一、三、五、六櫻島丸
昭和 30 年 1 月 25 日 昭和 30 年 1 月 31 日 昭和 30 年 9 月 30 日	●旅客運賃改定 30 円 ●発着時刻変更 ●発着時刻変更
昭和 31 年 5 月 1 日 昭和 31 年 11 月 26 日 昭和 31 年 1 月 16 日 昭和 31 年 4 月	●発着時刻変更 ●発着時刻変更 ●免許番号変更 本省第 9113 号 ●各部落の個人所有貨客船 28 隻を村が総額 1,796 万円で買収し、使用出来る船舶は修理整備する
昭和 32 年 5 月 17 日 昭和 32 年 9 月 10 日 昭和 32 年 8 月 7 日	●西桜島村各部落－鹿児島間・旅客不定期航路事業が許可される ●旅客定期航路事業（武－袴腰－鹿児島航路） 増便 13 回→14 回 ●桜島一周道路完成 自衛隊施工
昭和 33 年 5 月 8 日 昭和 33 年 10 月 1 日 昭和 33 年 10 月 20 日	●武－袴腰－鹿児島航路の起点変更（武抜航） 袴腰－鹿児島航路となる ●発着時刻変更 ●使用船変更 - 第三櫻島丸は自動車航送船に改造、旅客定員を 12 名とし、自動車専用船として不定期航路事業で運航することになり使用船より除く
昭和 34 年 12 月 1 日	●国鉄袴腰駅委託事務－乗車券販売 - 国鉄連絡運輸事務－荷物発送・連絡切符発売（六大都市及び九州全線） ●省営（国鉄）接続荷物中継、荷物配達作業請負事務（日本通運株式会社）
昭和 35 年 7 月 1 日 昭和 35 年 8 月 23 日	●定期券運賃改定認可 ●船名変更 第六櫻島丸（旧第五姫戸丸）→第十櫻島丸 ●第六櫻島丸建造（104,000 千円） - 大型バス 10 台積載可能 本格的な自動車航送船（鋼船）として就航
昭和 35 年 8 月 31 日	●桜島・鹿児島両港に可動橋建設 建設費 7,618,527 円
昭和 36 年 3 月 31 日 昭和 36 年 9 月 24 日	●発着時刻変更 ●発着時刻変更

年 月 日	出 来 事
昭和 36 年 11 月 24 日	●発着時刻変更
昭和 37 年 4 月 19 日	●発着時刻変更
昭和 37 年 5 月 25 日	●旅客不定期航路事業の使用船より第十五櫻島丸を除く (本船は新島の中学生の桜島への通学用に使うため)
昭和 37 年 11 月 15 日	●台風 28 号のため第一櫻島丸坐礁破損
昭和 37 年 11 月 17 日	●国民宿舎さくらじま荘営業開始
昭和 37 年 12 月 14 日	●水中翼船さくらじま購入 価格 14,300 千円 袴腰－鹿児島航路に朝 1 便就航 運賃 100 円 同船の航行区域を次の通り設定する 旅客不定期航路(鹿児島港内周遊)
	A コース 袴腰－有村崎－鴨池沖－袴腰 25km
	B コース 袴腰－瀬戸崎－新島－三船－磯－袴腰 40km
	C コース 袴腰－有村－高須－指宿－知林－袴腰 100km
	G/T 9.19 L10.00 B2.60 D1.21 定員 13 名 M E275 35 節 昭 37.9 進水
昭和 38 年 3 月 14 日	●第二櫻島丸購入 50,000 千円 国鉄宇高連絡船第二宇高丸を買収の上、改造 大型バス 8 台積載可能
	●第一櫻島丸修理完成 船首客室を車両甲板に改造し車両搭載台数を 8 台とする G/T110.82 L25.00 B7.31 D2.18 定員 90 名 M SD120
昭和 38 年 9 月 10 日	●第十櫻島丸 老朽化のため、使用船より除く
昭和 38 年 10 月 12 日	●旅客不定期航路(西桜島各部落－鹿児島) 使用船より第二十櫻島丸を除く(売却)
昭和 39 年 8 月	●船名変更 第八櫻島丸→第二十櫻島丸
昭和 39 年 10 月 17 日	●第八櫻島丸竣工(123,000 千円) 大型バス 10 台積載可能
昭和 39 年 11 月 26 日	●運航回数増(1 日 14 回→1 日 23 回) 発着時刻変更
昭和 40 年 4 月	●鹿児島港ターミナルビル(村負担額 10,000 千円) 接岸施設(同 5,150 千円)完成
昭和 40 年 6 月 1 日	●自動車航送運賃改定【運賃の推移を参照】
昭和 40 年 12 月 8 日	●第一櫻島丸売船 南国交通㈱
昭和 40 年 12 月 10 日	●鹿児島港第 2 可動橋(9,669 千円) 人道橋(6,331 千円)完成
昭和 41 年 4 月 30 日	●第一櫻島丸竣工(145,000 千円) 大型バス 10 台積載可能 運航回数増(1 日 23 回→1 日 30 回) 発着時刻変更
昭和 41 年 11 月 30 日	●桜島港第二可動橋(13,186 千円)完成
昭和 41 年 12 月 9 日	●運航回数増(1 日 30 回→1 日 45 回) 昭和 42.2.1 実施
昭和 42 年 3 月 15 日	●第五櫻島丸売船 南国交通㈱
昭和 42 年 9 月 1 日	●旅客不定期航路事業(西桜島村各部落－鹿児島)
昭和 42 年 11 月 13 日	●運航回数増(1 日 45 回→1 日 60 回) 昭和 42.11.20 実施 第五櫻島丸竣工(166,500 千円) 大型バス 10 台積載可能
昭和 43 年 4 月 1 日	●旅客定期航路事業(黒神口－鹿児島航路) (九州第 566 号)を鹿児島市から譲受する ※九州海運局長認可 昭和 43 年 4 月 30 日 使用船：ひまわり 売船価格 2,550 千円 航路権価格 800 千円 G/T19.45 L14.94 B3.71 D1.40 定員 80 名 M D90 昭和 38.11 進水

年 月 日	出 来 事
昭和 43 年 9 月 18 日	●旅客不定期航路事業（白浜・新島・浦之前）航路の開設 通学並びに夏季海水浴場旅客輸送の為 白浜・新島間 通学生は除く大人 30 円 使用船：第十五櫻島丸
昭和 43 年 11 月 19 日	●自動車航送特殊手荷物の割引制度実施
昭和 44 年 8 月 1 日	●水中翼船、旅客不定期航路事業（鹿児島港内周遊）の廃止
昭和 44 年 9 月 29 日	●第三櫻島丸竣工（182,680 千円） 大型バス 10 台積載可能
昭和 44 年 10 月 31 日	●桜島港ターミナルビル完成（115,076 千円）
昭和 44 年 11 月 10 日	●桜島港人道橋（13,500 千円） 歩道橋（14,500 千円）完成
昭和 45 年 3 月 3 日	●旅客定期航路事業（袴腰－鹿児島航路）のうち、水中翼船を廃止する
昭和 45 年 11 月 1 日	●旅客定期航路事業（袴腰－鹿児島航路） 免許番号変更：九州第 2028 号
昭和 47 年 10 月 10 日	●昭和 47.2.15 鹿児島港帝国倉庫を 75,500 千円で購入 昭和 47.10.10 倉庫解体土地整地を行いモータープールとして使用 整地費用：4,215 千円
昭和 47 年 10 月 12 日	●第十櫻島丸竣工（221,200 千円） 大型バス 10 台、乗用車 30 台積載可能
昭和 47 年 10 月 20 日	●桜島港二階積可動橋（33,000 千円） 人道橋（38,289 千円）完成 鹿児島港車道橋（15,000 千円）完成
昭和 47 年 11 月 1 日	●桜島－鹿児島航路 運航回数並びに発着時刻の変更（60 回→81 回）
昭和 47 年 11 月	●桜島港湾フェリー接岸壁完成（237,864 千円） 昭和 44 年から昭和 47 年までの継続事業
昭和 47 年 11 月 15 日	●旅客不定期航路事業（西桜島村各港－鹿児島航路）使用船舶変更 （新）第九、十六櫻島丸 2 隻運航
昭和 47 年 12 月 25 日	●旅客定期航路事業（桜島－鹿児島航路）の使用船変更 予備船第二櫻島丸売船に伴い使用船から除外する 売船価格：4,300 千円
昭和 48 年 5 月 1 日	●名称変更：西桜島村を桜島町にする
昭和 48 年 10 月 26 日	●旅客不定期航路事業（桜島町各港－鹿児島航路） 使用船舶から第九、十六櫻島丸を除外し、同航路は事業休止となる
昭和 49 年 2 月 1 日	●旅客定期航路事業（桜島－鹿児島航路）の運賃改定（制度改正による）自動車航 送運賃制度の改正により、車種別長さの運賃制度から、車種にかかわらず車両 の長さによる運賃制度となる【運賃の推移を参照】
昭和 49 年 2 月 6 日	●旅客定期航路事業（黒神口－鹿児島航路） 発着時刻並びに運航回数の変更（減便）
昭和 49 年 2 月 8 日	●旅客不定期航路事業（白浜－新島－浦之前航路）の使用船変更 （新）第十五櫻島丸 （旧）第十三櫻島丸
昭和 49 年 4 月	●垂水フェリー（南海郵船）フェリー事業開始
昭和 49 年 5 月 20 日	●旅客定期航路事業（桜島－鹿児島航路） 発着時刻並びに運航回数の変更（季節ダイヤの設定）
昭和 49 年 7 月 26 日	●旅客不定期航路事業（白浜－新島－浦之前航路）の事業廃止 新島に在住する小・中学生を桜島本島に輸送することを主目的としたもので、一 般旅客の輸送はほとんどなく赤字が続き、合理化計画の一つとして同航路を廃止 する。なお、小・中学生は黒神－鹿児島航路に振替える
昭和 49 年 8 月 20 日	●旅客定期航路事業（桜島－鹿児島航路）の運賃改定 旅客運賃：大人 30 円→50 円に改定 定期券割引 （1）通勤定期 600 円 （2）通学定期 200 円

年 月 日	出 来 事												
	自動車航送運賃【運賃の推移を参照】												
昭和 50 年 11 月 1 日	●旅客定期運賃改定 通勤定期券 600 円→1,000 円に改定 通学定期券 200 円→300 円に改定												
昭和 50 年 12 月 1 日	●旅客定期航路事業（桜島－鹿児島航路）の季節ダイヤ廃止												
昭和 51 年 3 月 26 日	●旅客定期航路事業（黒神口－鹿児島航路）の一部区間廃止 廃止航路：黒神口－各港－鹿児島間 なお、浦之前－新島航路は通学生の為に残す												
昭和 51 年 4 月 1 日	●（公営事業法の一部適用） 交通事業の財務に関し地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号。以下「法」という）の第 3 条から第 6 条まで第 17 条から第 35 条まで、第 40 条から第 41 条まで及び同法附則第 2 項から第 4 項までの規定を適用開始												
昭和 51 年 4 月 28 日	●旅客定期航路事業（浦之前－新島航路）の事業廃止。以降、行政機関（桜島町役場）によりスクールボートとして運航												
昭和 51 年 12 月 1 日	●旅客定期航路事業（桜島－鹿児島航路）の運賃改定 旅客運賃：大人 50 円→60 円に改定 通勤定期券：1,000 円→1,200 円に改定 通学定期券：300 円→400 円に改定 自動車航送運賃【運賃の推移を参照】												
昭和 52 年 3 月	●第六桜島丸竣工（390,100 千円） 大型バス 10 台、乗用車 30 台積載可能												
昭和 52 年 4 月	●料金徴収にゲート方式を導入												
昭和 52 年 4 月 1 日	●鹿児島港車両誘導業務委託開始												
昭和 52 年 7 月 18 日	●旅客定期航路事業（桜島－鹿児島航路）の使用船舶変更 予備船第六桜島丸売船に伴い、使用船から除外する												
昭和 52 年 7 月 31 日	●旧第六桜島丸売船 長崎県瀬清水商会 売船価格：14,000 千円 新船を第六桜島丸と命名した事により旧第六桜島丸を予備船に編入する												
昭和 53 年 6 月 27 日	●旅客不定期航路事業（鹿児島湾内周遊航路）の事業免許 事業内容／納涼船観光事業（昭和 53 年 7 月 8 日運航開始） 運航期間／毎年 7 月から 8 月まで（但し、お盆期間は除く） <table><tr><th>航 路</th><th>運 賃</th><th>距 離</th></tr><tr><td>A コース（鹿児島本港－喜入沖）</td><td>600 円</td><td>40km</td></tr><tr><td>B コース（鹿児島本港－海潟沖）</td><td>600 円</td><td>40km</td></tr><tr><td>C コース（鹿児島本港－新島沖）</td><td>600 円</td><td>40km</td></tr></table>	航 路	運 賃	距 離	A コース（鹿児島本港－喜入沖）	600 円	40km	B コース（鹿児島本港－海潟沖）	600 円	40km	C コース（鹿児島本港－新島沖）	600 円	40km
航 路	運 賃	距 離											
A コース（鹿児島本港－喜入沖）	600 円	40km											
B コース（鹿児島本港－海潟沖）	600 円	40km											
C コース（鹿児島本港－新島沖）	600 円	40km											
昭和 54 年 2 月 6 日	●旅客不定期航路事業（鹿児島湾内周遊航路）の事業計画変更 運航期間の変更 （新）年間随時運航（貸切船運航を含む） （旧）毎年 7 月から 8 月まで（但し、お盆期間は除く）												
昭和 54 年 5 月 31 日	●旅客不定期航路事業（桜島町各港－鹿児島航路）の事業廃止												
昭和 54 年 12 月	●第八桜島丸竣工（446,000 千円） 大型バス 10 台、乗用車 30 台積載可能												
昭和 55 年 7 月 11 日	●旅客不定期航路事業（運賃改定） <table><tr><th>納涼船運賃</th><th>大人</th><th>小児</th></tr><tr><td>昭和 53 年 7 月 8 日（旧運賃）</td><td>600 円</td><td>300 円</td></tr><tr><td>昭和 55 年 7 月 11 日（新運賃）</td><td>800 円</td><td>400 円</td></tr></table>	納涼船運賃	大人	小児	昭和 53 年 7 月 8 日（旧運賃）	600 円	300 円	昭和 55 年 7 月 11 日（新運賃）	800 円	400 円			
納涼船運賃	大人	小児											
昭和 53 年 7 月 8 日（旧運賃）	600 円	300 円											
昭和 55 年 7 月 11 日（新運賃）	800 円	400 円											

年 月 日	出 来 事
昭和 56 年 8 月 20 日	●旅客定期航路事業（桜島－鹿児島航路）の運賃改定 旅客運賃：大人 60 円→100 円、小児 30 円→50 円に改定 通勤定期券：1,200 円→2,000 円に改定 通学定期券：400 円→650 円に改定 自動車航送運賃【運賃の推移を参照】
昭和 59 年 1 月 20 日	●24 時間（昼夜）運航の事業計画変更認可 運航回数 7 往復増便及び発着時刻変更
昭和 59 年 4 月 1 日	●24 時間（昼夜）運航開始（162 便→176 便） 鹿児島港午後 10 時 30 分、桜島港午後 11 時 00 分より
昭和 59 年 5 月	●桜島港車両誘導業務委託開始 ●桜島フェリー 50 周年記念式典
昭和 60 年 1 月～12 月 （年間）	●昭和 35 年以来の記録的噴火、降灰噴火回数 537 回 爆発回数 474 回 鹿児島市降灰量 15,908 g/m²
昭和 62 年 11 月 14 日	●桜島港第 1 可動橋を二階積用可動橋に建設、完成。建造費：98,000 千円
昭和 62 年 11 月 20 日	●櫻島丸（総トン数 498 t・1 層積み）竣工 林兼船渠㈱ 建造費：332,720 千円
昭和 62 年 12 月 10 日	●第一櫻島丸売船 城山観光㈱ 売船価格：25,000 千円
昭和 63 年 12 月 15 日	●発着時刻の変更 176 便中における両港発 6 時 45 分のダイヤ調整
平成元年 4 月 1 日	●消費税導入に伴う一般旅客定期航路事業（桜島－鹿児島航路）の運賃改定 旅客運賃：消費税転嫁せず 自動車航送運賃【運賃の推移を参照】自動二輪車運賃：240 円→250 円に改定 ●消費税導入にともなう旅客不定期航路（鹿児島湾内周遊航路）の運賃改定 大人：800 円→820 円、小児：400 円→410 円に改定
平成 2 年 3 月 20 日	●第五櫻島丸（総トン数 575 t・1 層積み）竣工 林兼船渠㈱ 建造費：488,426 千円
平成 2 年 6 月 28 日	●旧第五櫻島丸売船 大和海事貿易事務所（インドネシア向け） 売船価格：9,800 千円
平成 4 年 2 月 3 日	●第十三櫻島丸（総トン数 699 t・1 層積み）竣工 讃岐造船㈱ 建造費：761,685 千円
平成 4 年 3 月 31 日	●第三櫻島丸売船 東京フレイティング㈱（インドネシア向け） 売船価格：15,500 千円
平成 4 年 4 月 1 日	●一般旅客定期航路事業（桜島－鹿児島航路）の運賃改定 旅客運賃：大人 100 円→130 円、小児 50 円→70 円に改定 通勤定期券：2,700 円→3,510 円に改定 通学定期券：900 円→1,170 円に改定 通学定期券（小児）：450 円→590 円に改定 自動車航送運賃【運賃の推移を参照】 手荷物運賃 自転車 80 円→100 円に改定 原付（125cc まで）160 円→200 円に改定 自動二輪車（750cc 未満）250 円→300 円に改定 自動二輪車（750cc 以上）250 円→400 円に改定 ※上記手荷物運賃（自転車・単車）の定期券設定 （片道 1 回運送する運賃を 60 倍したものを 4 割引）

年 月 日	出 来 事														
平成 4 年 4 月 1 日	●旅客不定期航路事業（鹿児島湾内周遊航路）の運賃改定 大人 820 円→1,000 円、小児 410 円→500 円に改定														
平成 4 年 6 月～8 月	●国道 220 号線の垂水小浜地区での集中豪雨などによる全面通行止の為、大幅輸送減となる（8 月 12 日より連続 6 日間の全面通行止）														
平成 4 年 8 月 31 日	●桜島港ターミナルロータリー建設 総工事費：26,586 千円														
平成 4 年 9 月 30 日	●桜島港人車道橋塗装工事 総工事費：57,680 千円														
平成 5 年 3 月 20 日	●船舶備品倉庫北岸壁に完成 鉄筋コンクリート造：92,416 m ² 総工事費：22,632 千円														
平成 5 年 9 月 3 日 ～14 日	●国道 220 号線の垂水小浜地区で連続 12 日間におよぶ全面通行止となり深刻な影響を受ける。この年、延べ 30 日の通行止となる														
平成 5 年 9 月 30 日	●桜島港ターミナルビル全面改修完成 エスカレーター2 基設置 総工事費：337,694 千円														
平成 6 年 4 月 1 日	●一般旅客定期航路事業（桜島－鹿児島航路）の運賃改定 旅客運賃：大人 130 円→150 円、小児 70 円→80 円に改定 通勤定期券：3,510 円→4,050 円に改定 通学定期券：1,170 円→1,350 円、小児 590 円→680 円に改定 ●深夜運航 10 周年記念事業 10 年間の輸送量 【旅客】 1,772,326 人 【車両】 691,427 台														
平成 6 年 7 月 17 日	●初の女性船員誕生														
平成 6 年 9 月 3 日	●交通事業創業 60 周年記念イベント 「錦江湾還暦クルージング」参加者 517 名														
平成 6 年 12 月 27 日	●交通事業創業 60 周年記念イベント 「フェリー利用感謝ゴルフコンペ」参加者 227 名 ●ターミナル構内に「フェリー創立 60 周年記念公園」建設 総工事費：8,755 千円														
平成 7 年 1 月 20 日	●第十五桜島丸（総トン数 1,134 t・2 層積み）竣工 林兼船渠㈱ 建造費：947,600 千円 「愛称チェリークイーン」														
平成 7 年 1 月 27 日	●桜島フェリー60 周年記念式典														
平成 7 年 3 月	●第十桜島丸売船 売船価格：40,100 千円														
平成 8 年 11 月	●回数自動車航送運賃の改定（6 枚綴回数券）														
平成 8 年 11 月 13 日	●桜島港北側駐車場舗装整備工事 総工事費：26,471 千円														
平成 9 年 4 月 1 日	●自動車航送運賃改定【運賃の推移を参照】														
平成 9 年 7 月 1 日	●旅客不定期航路事業（鹿児島湾内周遊）の船舶使用料改定														
	<table><tr><td rowspan="2">2 層積船舶</td><td>納涼船運航 期間内</td><td>472,500 円</td><td>500 人×1,000 円×90% ×消費税 5%</td></tr><tr><td>〃 期間外</td><td>425,250 円</td><td>(500 人×1,000 円×90%) ×90%×消費税 5%</td></tr><tr><td rowspan="2">1 層積船舶</td><td>納涼船運航 期間内</td><td>378,000 円</td><td>400 人×1,000 円×90% ×消費税 5%</td></tr><tr><td>〃 期間外</td><td>340,200 円</td><td>(400 人×1,000 円×90%) ×90%×消費税 5%</td></tr></table>	2 層積船舶	納涼船運航 期間内	472,500 円	500 人×1,000 円×90% ×消費税 5%	〃 期間外	425,250 円	(500 人×1,000 円×90%) ×90%×消費税 5%	1 層積船舶	納涼船運航 期間内	378,000 円	400 人×1,000 円×90% ×消費税 5%	〃 期間外	340,200 円	(400 人×1,000 円×90%) ×90%×消費税 5%
2 層積船舶	納涼船運航 期間内		472,500 円	500 人×1,000 円×90% ×消費税 5%											
	〃 期間外	425,250 円	(500 人×1,000 円×90%) ×90%×消費税 5%												
1 層積船舶	納涼船運航 期間内	378,000 円	400 人×1,000 円×90% ×消費税 5%												
	〃 期間外	340,200 円	(400 人×1,000 円×90%) ×90%×消費税 5%												

年 月 日	出 来 事
平成 9 年 12 月 20 日	●鹿児島港人・可動橋竣工 総工事費：477,035 千円 鹿児島港桜島棧橋全面移転
平成 11 年 1 月 25 日	●第十六櫻島丸（総トン数 997 t・2 層積み）竣工 讃岐造船(株) 建造費：1,071,912 千円 「愛称 ドルフィンライナー」
平成 11 年 3 月 20 日	●第六櫻島丸売船 (株)リオグランデ（フィリピン向け） 売船価格：36,000 千円
平成 11 年 7 月 25 日	●鹿児島港人道橋安全対策工事 総工事費：2,447 千円
平成 11 年 10 月	●料金徴収精算事務電算機器・同システム開発
平成 12 年 6 月	●コンビニエンスストアチケット割引制度（旅客・車両）の導入
平成 12 年 7 月 10 日	●鹿児島港第三人道橋竣工 総工事費：72,566 千円
平成 12 年 9 月 29 日	●公共駐車場整備工事 総工事費：46,157 千円
平成 13 年 2 月 21 日	●第十五櫻島丸設備改造 総工事費：6,091 千円
平成 13 年 2 月 26 日	●鹿児島港立体駐車場建設 総工事費：56,307 千円 鉄骨ラーメン構造一層二段自走式 669.06 m ² 収容可能台数 70 台
平成 13 年 12 月 11 日	●桜島港人道橋屋根取付工事 総工事費：3,045 千円
平成 13 年 12 月 26 日	●桜島港ターミナルビル高齢者対策改修 総工事費：25,828 千円 エレベータ設置
平成 15 年 2 月 10 日	●第十八櫻島丸（総トン数 1,279 t・2 層積み）竣工 [バリアフリー基準適応船、船内にエレベータ設置、 客室段差解消、身障者用トイレ、点字案内、車椅子移動可能] 長栄造船(株) 建造費：1,044,435 千円 「愛称 プリンセスマリン」
平成 15 年 3 月 15 日	●第八櫻島丸売船 (株)清水商会（シンガポール向け） 売船価格：38,325 千円
平成 15 年 6 月 20 日	●桜島港人道橋滑止舗装工事 総工事費：1,187 千円
平成 16 年 8 月 21 日	●長洲剛桜島オールナイトコンサート（7 万人）
平成 16 年 8 月 30 日	●桜島フェリー就航 70 周年モニュメント除幕
平成 16 年 11 月 1 日	●鹿児島市、吉田町、桜島町、喜入町、松元町、郡山町の合併 ●鹿児島市の 4 番目の公営企業として事業開始（地方公営企業法の全部を適用）
平成 17 年 1 月	●船舶部WANの構築
平成 17 年 4 月 1 日	●カゴシマシティビュー 1 日パスポート所持者に対する割引の設定
平成 17 年 7 月 20 日	●夏休みチャレンジパス所持者に対する割引の設定
平成 17 年 8 月 3 日	●第 1 回船舶モニター会議
平成 17 年 10 月	●一般旅客定期航路事業（桜島－鹿児島航路）の基準航路の見直し（試行）
平成 17 年 12 月 1 日	●第 1 回船舶事業経営審議会
平成 18 年 1 月 28 日	●桜島大根展示&重量当てクイズ実施（第 1 回目）
平成 18 年 4 月 1 日	●一般旅客定期航路事業（桜島－鹿児島航路）の基準航路の見直し（本格実施） ●財務会計システムの供用開始 ●桜島港車両料金所運賃収納業務の夜間部分の委託 ●鹿児島港乗船券発売所の営業時間拡大（嘱託職員対応） ●コンビニエンスストアチケット割引率の見直し（10%⇒5%）
平成 18 年 6 月 1 日	●船舶乗務嘱託員（深夜・OB 嘱託員除く）の採用開始
平成 18 年 6 月 14 日	●納涼船に係るファミリー乗船旅客運賃・団体旅客運賃の設定及び高齢者割引の設定
平成 19 年 3 月 1 日	●桜島港駐車場の有料化（100 円／日）
平成 19 年 4 月 1 日	●I C カードシステムの供用開始（旅客運賃）

年 月 日	出 来 事
平成 19 年 4 月 1 日 平成 19 年 7 月 21 日	●桜島港車両料金所運賃収納業務の昼間部分の委託（第三ゲートは直営） ●S U N Qパス全九州所持者に対する割引の設定
平成 20 年 1 月 6 日 平成 20 年 4 月 1 日 平成 20 年 6 月 1 日	●「篤姫館」入館者に対する割引の設定 ●料金徴収・精算事務・車両台数管理システムの導入 ●桜島港車両料金所運賃収納業務の全部委託 ●コンビニマイカー往復割引の導入（割引率 10%） ●I Cカードシステムでの敬老パスの自動引き落とし開始 ●S U N Qパス全九州への参加
平成 20 年 8 月 平成 20 年 10 月 平成 20 年 11 月 11 日	●観光案内等を掲載した職員用携帯ハンドブック「潮風とともに」の発行 ●桜島フェリー初のオリジナルパンフレット「桜島観光ガイド」の発行 ●安全管理システムマニュアルの運用開始
平成 21 年 3 月 19 日 平成 21 年 4 月 1 日	●国土交通省より、船舶の安全運航と海洋の汚染防止のための体制を確立した事業所として、任意 I S Mコードの「適合認定書」の交付を受ける ●鹿児島県公共交通総合案内システム「交通ナビかごしま」への参加
平成 22 年 1 月 平成 22 年 1 月 26 日 平成 22 年 3 月 平成 22 年 4 月 1 日 平成 22 年 4 月 平成 22 年 4 月 27 日 平成 22 年 5、6 月 （10、11 月にも実施） 平成 22 年 7 月 1 日 平成 22 年 9 月 27 日	●桜島昭和火口の噴火活動活発化（同年の噴火回数が過去最高の 1026 回を記録） ●国土交通省より、船舶の安全運航維持のための業務体制・作業環境が確立され、安全管理技術の継続的な改善が確実に実施されている船舶として、第十八櫻島丸が、任意 I S Mコードの「船舶安全管理認定書」の交付を受ける ●桜島港施設整備基本計画案を作成（同年 4 月 28 日に議会報告及び公表） ●運航ダイヤの改正（176 便→172 便） 早朝の時間帯の増便（2 便増）、一部時間帯の運航間隔の見直し（6 便減） ●宮崎県において口蹄疫が発生（8 月末に終息宣言） ●第十五櫻島丸が任意 I S Mコードの「船舶安全管理認定書」の交付を受ける ●よりみちクルーズ船の試験運航実施 運航回数：10 回（12 便） 運航実績：旅客 3,740 人、車両 225 台 ●第 1 回桜島港フェリー施設整備検討委員会及び幹事会の開催 桜島港施設整備基本計画案の説明、議会からの要望等の説明 ●第十六櫻島丸が任意 I S Mコードの「船舶安全管理認定書」の交付を受ける
平成 23 年 1 月 平成 23 年 1 月 27 日 平成 23 年 2 月 17 日 平成 23 年 2 月 18 日	●霧島の新燃岳の火山活動が活発化 ●第 2 回桜島港フェリー施設整備検討委員会幹事会の開催 施設整備に関する調査結果の報告、建築計画案の説明 ●桜島丸（総トン数 1,330 t・2 層積み）竣工 [概要] 建造：中谷造船(株) 建造費：2,488,500 千円 「愛称：サクラエンジェル」 [特徴] ・電気推進システムやボッド式二重反転プロペラの採用により、二酸化炭素や窒素酸化物の排出量、燃料消費量、振動、騒音を低減 ・エレベータを 1 階から 4 階展望デッキまで設置、客室に子供・高齢者用のオープンスペース設置、客室ドア全自動化等（バリアフリー基準適合船） ・スーパーエコシップの旅客船では国内最大 ●桜島港フェリーターミナルビルリニューアル [概要] ・2 階床面張替、2 階天井・壁面塗替、2 階天井 L E D 取付、外壁洗浄等 ・総事業費：16,992 千円

年 月 日	出 来 事
平成 23 年 3 月 4 日	●桜島丸（サクラエンジェル）竣工式典等を開催
平成 23 年 3 月 10 日	●よりみちクルーズ船の本格運航開始（12 月 29 日～1 月 3 日を除く毎日運航） ●桜島丸（サクラエンジェル）就航開始 ●運航ダイヤの改正（172 便→166 便） ・午前及び夕方の運航間隔の拡大（7 便減） ・「よりみちクルーズ船」の運航ダイヤを設定（1 便増）
平成 23 年 3 月 11 日	●東日本大震災発生。1 日半欠航
平成 23 年 3 月 12 日	●九州新幹線全線開業
平成 23 年 4 月 1 日	●船舶内全面禁煙（船舶リニューアル事業で喫煙室を撤去し、授乳室等を設置）
平成 23 年 8 月 9 日	●櫻島丸売船 (株)ノーテックジャパン（インドネシア向け） 売船価格：130,000 千円
平成 23 年 9 月 8 日	●新船建造検討委員会を設置（第五櫻島丸代替船）
平成 23 年 10 月 5 日	●桜島港施設整備計画を策定
平成 23 年 10 月 18 日	●サクラジマアイランドビュー運行開始 ●鹿児島市営バス・電車・フェリー共通利用券（キュート）販売開始
平成 23 年 11 月 25 日	●電気推進船「スーパーエコシップ」建造による環境保全及び、バリアフリー仕様 船導入により、「九州運輸局環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰」受賞
平成 23 年 12 月 2 日	●桜島丸が任意 I S Mコードの「船舶安全管理認定書」の交付を受ける
平成 24 年 2 月 2 日	●第 1 回新船建造検討委員会の開催（新船建造の概要について説明）
平成 24 年 3 月 16 日	●「霧島錦江湾国立公園」誕生
平成 24 年 4 月 1 日	●局制導入（船舶部→船舶局） ●よりみちクルーズ船の運航を年中無休とする
平成 24 年 4 月 5 日	●手を振るお出迎え事業開始
平成 24 年 6 月 6 日	●第 2 回新船建造検討委員会の開催 （新船建造に関するアイデア募集の結果内容について報告）
平成 24 年 7 月 10 日	●錦江湾魅力再発見クルーズ船プレ運航実施 ※報道・市議会・旅行業関係者などを招待 乗船者数：210 人 ※9 月 29 日、10 月 27 日も実施 一般市民が対象 乗船者数：406 人
平成 24 年 7 月 13 日	●桜島フェリーマスコットキャラクター「サクラエンジェルちゃん」着ぐるみお披露目
平成 24 年 8 月 1 日	●イルカはいるかな事業開始
平成 24 年 9 月 20 日	●新船建造基本設計業務委託
平成 24 年 12 月 27 日	●船舶離着岸訓練実施（第十六櫻島丸 藤野港）
平成 25 年 2 月 8 日	●第 3 回新船建造検討委員会の開催（新船建造に関する基本設計について報告）
平成 25 年 3 月 27 日	●鹿児島市船舶事業経営計画（平成 25～34 年度）を策定
平成 25 年 4 月 1 日	●よりみちクルーズ船における「ファミリー割引乗船券」の発売開始
平成 25 年 5 月 7 日	●桜島港公有水面埋立にかかる環境調査開始
平成 25 年 7 月 10 日	●運輸安全マネジメント評価受検（～11 日）
平成 25 年 7 月 20 日	●国際火山学地球内部化学協会 2013 年学術総会（IAVCEI（ヤブセイ））が鹿児島市 で開催（～24 日）
平成 25 年 9 月 14 日	●錦江湾魅力再発見クルーズ船正式運航開始（計 8 回運航）
平成 25 年 9 月 24 日	●桜島・錦江湾がジオパークに認定
平成 25 年 10 月 15 日	●避難港での離着岸訓練を時期を分けて全船実施（～12 月 2 日）
平成 25 年 11 月 19 日	●よりみちクルーズ船乗船者 5 万人達成

年 月 日	出 来 事
平成 25 年 12 月 24 日	●船窓から見える景観案内事業実施
平成 26 年 1 月 12 日	●桜島大正噴火「防災」100 年式典
平成 26 年 4 月 1 日	●一般旅客定期航路事業（桜島－鹿児島航路）の運賃改定 旅客運賃：大人 150 円→160 円に改定。 通勤定期券：4,050 円→4,320 円に改定 通学定期券：1,350 円→1,440 円に改定 通学定期券（小児）：680 円→720 円に改定 自動車航送運賃【運賃の推移を参照】 手荷物運賃 自転車：100 円→110 円に改定 原付（125cc まで）：200 円→220 円に改定 自動二輪車（750cc 未満）：310 円→330 円に改定 自動二輪車（750cc 以上）：410 円→440 円に改定
平成 26 年 5 月 10 日	●錦江湾魅力再発見クルーズ船春期運航実施（5 月 17 日も実施）
平成 26 年 7 月 30 日	●運輸安全マネジメント評価受検（～31 日）
平成 26 年 8 月 1 日	●交通局とのオリジナルグッズ相互販売実施
平成 26 年 9 月 13 日	●錦江湾魅力再発見クルーズ船秋期運航実施 計 8 回（～11 月 8 日）
平成 26 年 9 月 24 日	●避難港での離着岸訓練を時期を分けて実施（～12 月 2 日）
平成 26 年 11 月 25 日	●船舶事業 80 周年記念パネル展（本庁、各支所、イオンモール鹿児島にて開催～3/21 まで）
平成 26 年 11 月 29 日	●よりみちクルーズ船上セミナー運航実施 計 10 回（～2 月 14 日）
平成 26 年 12 月 21 日	●東九州自動車道 - 大隅縦貫道 鹿屋まで開通
平成 27 年 2 月 6 日	●桜島フェリー公式 Facebook 開設
平成 27 年 3 月 19 日	●第二桜島丸（総トン数 1,404 t ・2 層積み）竣工 [概要] 建造：前畑造船(株)建造費：1,974,000 千円 「愛称：サクラフェアリー」
平成 27 年 3 月 20 日	●桜島フェリーホームページをリニューアル
平成 27 年 3 月 26 日	●船舶事業 80 周年記念及び第二桜島丸竣工式典開催（於：第二桜島丸船内）
平成 27 年 4 月 1 日	●第二桜島丸（サクラフェアリー）就航開始 ●運航ダイヤの改定（166 便→140 便） ・運航体制の見直し（26 便減）
平成 27 年 4 月 11 日	●錦江湾魅力再発見クルーズ船春期運航実施（～5 月 16 日 計 4 回）
平成 27 年 7 月 9 日	●第五桜島丸売船 (株)清水商会（フィリピン向け） 売船価格：145,800 千円
平成 27 年 8 月 15 日	●鹿児島地方気象台が桜島火山の噴火警戒レベルをレベル 4（避難準備）に引き上げ（9/1 レベル 3（入山規制）に引下げ） [対応] 8/16～8/26 よりみちクルーズ船 運航中止（11 日間） 8/16～8/31 桜島納涼観光船 運航中止（42 日間⇒26 日間）
平成 27 年 9 月 6 日	●錦江湾魅力再発見クルーズ船秋期運航実施（～11 月 7 日 計 8 回）
平成 27 年 10 月 18 日	●ロングクルーズ（ハロウィーン・ミステリークルーズ）運航
平成 27 年 11 月 28 日	●よりみちクルーズ船上セミナー運航実施 計 10 回（～2 月 13 日）
平成 27 年 12 月 1 日	●運航ダイヤの改定（便数変更なし） ・原則 15 分の運航間隔

年 月 日	出 来 事
平成 28 年 3 月 26 日	●ロングクルーズ（サクラ・ナイトクルーズ）運航
平成 28 年 4 月 14 日	●熊本地震発生
平成 28 年 4 月 17 日	●錦江湾魅力再発見クルーズ船春期運航実施（～5 月 29 日 計 4 回）
平成 28 年 6 月 1 日	●バスフロート船 適用開始
平成 28 年 10 月 9 日	●錦江湾魅力再発見クルーズ船秋期運航実施（～10 月 30 日 計 4 回）
平成 28 年 10 月 15 日	●ロングクルーズ（ハロウィーン・ファミリークルーズ）運航
平成 28 年 10 月 29 日	●ロングクルーズ（ハロウィーン・ナイトクルーズ）運航
平成 28 年 11 月 16 日	●中国 SNS 微博（ウェイボー）開設（観光交流局、総務局と連携）
平成 28 年 11 月 21 日	●よりみちクルーズ船乗船者 10 万人達成
平成 28 年 12 月 3 日	●よりみちクルーズ船上セミナー運航実施 計 10 回（～2 月 11 日）
平成 28 年 12 月 26 日	●桜島港 第 2 ポンプ室完成（油圧ポンプ室、非常用発電機室、倉庫） （RC 造 2 階建、床面積：108.68 ㎡、工事価格：16,442 千円）
平成 29 年 3 月 24 日	●桜島港 第四バース乗降施設完成 （鋼橋 車道橋固定部・可動部、人道橋固定部・可動部 設備 各種シリンダー、油圧ユニット、非常用発電機等 工事価格：1,140,208 千円）
平成 29 年 4 月 1 日	●定期航路 5 隻体制での運航開始（6 隻から 5 隻へ減船）
平成 29 年 4 月	●よりみちクルーズ小学生体験パスポート配付 （対象：鹿児島市内の小学生約 37,000 人）
平成 29 年 5 月 14 日	●錦江湾魅力再発見クルーズ船春期運航実施（～5 月 28 日 計 3 回）
平成 29 年 5 月 26 日	●第十三櫻島丸売船 和気海運商事㈱（フィリピン向け） 売船価格：287,280 千円
平成 29 年 7 月 29 日	●よりみちクルーズ船上セミナー（夏休みジオ・キッズ講座）実施 （8 月 12 日、8 月 26 日 計 3 回）
平成 29 年 8 月	●桜島納涼観光船の 8 月限定運航開始（5 隻体制のため）
平成 29 年 9 月	●船舶検査機関の給油対応に係る運航調整ダイヤ実施（～3 月 計 5 回、のべ 69 日間、▲414 便）
平成 29 年 10 月 12 日	●桜島フェリー公式 L I N E @開設
平成 29 年 10 月 15 日	●錦江湾魅力再発見クルーズ船秋期運航実施（10/22、10/29 は台風接近の為中止）
平成 29 年 10 月 21 日	●ロングクルーズ（ハロウィン・ファミリークルーズ）運航
平成 29 年 11 月 20 日	●ロングクルーズ（錦江湾屋台船）運航…平日（月曜日）
平成 30 年 1 月 31 日	●桜島港新フェリーターミナルビル完成 （RC 造 3 階建（一部 4 階）、床面積：2,924.79 ㎡、多目的ホール コミュニティスペース、飲食コーナー、売店、待合所、展望スペース エレベーター、エスカレーター、多目的トイレ、工事価格：1,278,966 千円）
平成 30 年 3 月 9 日	●鹿児島市船舶事業経営計画（平成 25 年度～34 年度）の見直し
平成 30 年 3 月 19 日	●桜島港新フェリーターミナルビル供用開始
平成 30 年 3 月 23 日	●桜島港新フェリーターミナルビル供用開始記念セレモニー・完成記念式典
平成 30 年 5 月 13 日	●錦江湾魅力再発見クルーズ船春期運航実施（～5 月 27 日 計 3 回）
平成 30 年 9 月 1 日	●運航ダイヤの改定（140 便⇒130 便） 12 時～15 時台 一時間当たり 4 便⇒3 便へ 20 時台 〃 3 便⇒2 便へ
平成 30 年 9 月 13 日	●デジタルサイネージの運用開始（鹿児島南ロータリークラブ寄贈）

年 月 日	出 来 事
令和 2 年 7 月 1 日 令和 2 年 8 月 令和 2 年 10 月	●桜島フェリー公式 Instagram 開設 ●桜島納涼観光船運航中止（新型コロナウイルス感染症の影響による） ●錦江湾魅力再発見クルーズ船秋期運航中止（新型コロナウイルス感染症の影響による）
令和 3 年 2 月 15 日 令和 3 年 3 月 令和 3 年 4 月 1 日 令和 3 年 5 月 令和 3 年 7 月 17 日 令和 3 年 8 月 令和 3 年 8 月 16 日 令和 3 年 10 月 令和 3 年 10 月 21 日	●よりみちクルーズ船運航中止（新型コロナウイルス感染症の影響による、～3 月 7 日まで） ●船舶局航路附属施設等長寿命化計画策定 ●運航ダイヤの改定（130 便⇒平日 120 便、土日祝日 130 便） ●錦江湾魅力再発見クルーズ船春期運航中止（新型コロナウイルス感染症の影響による） ●東九州自動車道 志布志 I C～鹿屋串良 J C T間が開通 ●桜島納涼観光船運航中止（新型コロナウイルス感染症の影響による） ●よりみちクルーズ船運航中止（新型コロナウイルス感染症の影響による、～9 月 30 日まで） ●錦江湾魅力再発見クルーズ船秋期運航中止（新型コロナウイルス感染症の影響による） ●桜島フェリーYouTube 公式チャンネル開設
令和 4 年 2 月 令和 4 年 3 月 令和 4 年 4 月 1 日 令和 4 年 4 月 1 日 令和 4 年 4 月 1 日 令和 4 年 4 月 令和 4 年 7 月 24 日 令和 4 年 8 月 令和 4 年 10 月 7 日 令和 4 年 10 月 17 日 令和 4 年 10 月 22 日	●省エネ（減速）運航の実証実験（0 時～4 時） 3 月（22 時～4 時） 4 月から 23 便（20 時～4 時） ●第 2 期鹿児島市船舶事業経営計画（令和 4 年度～13 年度）策定 ●錦江湾魅力再発見クルーズ事業廃止 ●運航ダイヤの改定（平日 120 便⇒平日 118 便、土日祝日 130 便） ●よりみちクルーズ船の土日祝日等限定運航開始（運航実績や運航収益を踏まえた効率的な運航） ●船内の可燃・不燃ごみ箱を撤去 ●鹿児島地方気象台が桜島火山の噴火警戒レベルをレベル 5（避難）に引き上げ（7/27 レベル 3（入山規制）に引き下げ） ●桜島納涼観光船運航中止（新型コロナウイルス感染症の影響による） ●桜島フェリー御船印の販売を開始（5 種類） ●キャッシュレスシステムにタッチ決済機能を導入 ●錦江湾クルージング実証実験事業実施（～10 月 23 日 計 2 回）
令和 5 年 1 月 24 日 令和 5 年 4 月 1 日 令和 5 年 4 月 1 日 令和 5 年 4 月 1 日 令和 5 年 4 月 1 日 令和 5 年 4 月 1 日 令和 5 年 4 月 1 日 令和 5 年 6 月 1 日 令和 5 年 8 月 10 日	●船内電照掲示板リニューアル・LED 化（第十六櫻島丸 2 基、第十八櫻島丸 1 基、桜島丸 1 基） ●定期航路 4 隻体制での運航開始（5 隻から 4 隻へ減船） ●よりみちクルーズ船事業廃止 ●納涼船事業廃止 ●運航ダイヤの改正（平日 118 便⇒平日 102 便、土日祝 130 便⇒112 便） ●貸切船を原則、平日運航とする（5 隻から 4 隻への減船による） ●省エネ（減速）運航 17 便（20 時 30 分～4 時 30 分） ●マリンポートかごしまに寄港するクルーズ船乗客の二次交通として貸切船の運航を開始 ●第十五櫻島丸売船 (有)サン（マレーシア向け） 売船価格：38,720 千円

年 月 日	出 来 事
令和 6 年 7 月 1 日	●一般旅客定期航路事業（桜島～鹿児島航路）の運賃改定 - 旅客運賃：大人 200 円→250 円に改定 - 通勤定期券：5,400 円→6,750 円に改定 - 通学定期券：1,800 円→1,880 円に改定 - 通学定期券（小児）：900 円→940 円に改定 - シニア定期（新設）：5,250 円 - 自動車航送運賃【運賃の推移を参照】 - 手荷物運賃 - 自転車：130 円→160 円に改定 - 原付（125cc まで）：270 円→330 円に改定 - 自動二輪車（750cc 未満）：400 円→480 円に改定 - 自動二輪車（750cc 以上）：530 円→640 円に改定
令和 6 年 8 月 1 日	●九州 MaaS 協議会への参画
令和 6 年 9 月 13 日	●船舶事業 90 周年記念御船印の販売
令和 6 年 10 月 5 日	●船舶事業 90 周年アーカイブ写真パネル展（イオンモール鹿児島、センテラススクエア、鹿児島中央駅市民サービスステーション等にて開催～11/30 まで）
令和 6 年 11 月 10 日	●船舶事業 90 周年記念オリジナルグッズ（限定ハンカチ）の販売
令和 6 年 11 月 10 日	●船舶事業 90 周年記念クルージング（第二桜島丸）
令和 7 年 1 月 31 日	●九州 MaaS アプリ「my route」にて木下大サーカス自由席と桜島フェリー旅客往復乗船券発売
令和 7 年 3 月 1 日	●船舶事業 90 周年記念出港メロディの整備
令和 7 年 3 月 17 日	●キャッシュレスシステムに交通タッチ決済（VISA タッチ）を導入

2 運賃の推移

① 定期航路

旅 客	運賃(大人)	年月日	S9.12	S14.10.28	S17.4.1	S20.3.9	S21.1.1	S22.3.1	S22.9.8	S23.4.28	S23.5.18	S30.1.25	(単位:円)	
		区分	15銭	25銭	30銭	50銭	1	2	5	15	26	30		
		※百圓～百圓未満												
		年月日	S49.2.1	S49.8.20	S51.12.1	S56.8.20	H元.4.1	H4.4.1	H6.4.1	H9.4.1	H26.4.1	R1.10.1		R6.7.1
車	バス	区分	大人	50	60	100	130	150	160	200	250	(単位:円)		
		小児	25	30	50	70	80	—	100	130				

(自動車航送運賃制度改正前:車種別の長さによる運賃) (単位:円)

面	区分	年月日	(単位:円)									
			S40.6.1	S49.8.20	S51.12.1	S56.8.20	H元.4.1	H4.4.1	H6.4.1	H9.4.1	H26.4.1	R1.10.1
車	バス	年月日	実車	一般	小学生	空車						
		7m迄	1,200	1,000	750							
		9m迄	1,800	1,350	900							
		11m迄	2,500	1,750	1,000							
		11mを超える	3,000	2,100	1,200							
		3m迄	400									
	乗用車	4m迄	500									
		4.5m迄	550									
		5m迄	700									
		5mを超える	800									
		3m迄	300									
		4m迄	450									
面	トラック	5m迄	550									
		6m迄	600									
		7m迄	750									
		8m迄	1,000									
		9m迄	1,300									
		10m迄	1,600									
	トラック	11m迄	1,900									
		12m迄	2,200									
		12mを超える	2,500									
		3m迄	300									
		4m迄	450									
		5m迄	550									

(自動車航送運賃制度改正後:車両の長さによる運賃)

面	区分	年月日	S49.8.20	S51.12.1	S56.8.20	H元.4.1	H4.4.1	H6.4.1	H9.4.1	H26.4.1	R1.10.1	R6.7.1
			350	600	700	720	800	—	820	880	1,070	1,280
車	バス	3m以上4m未満	450	750	900	920	1,050	—	1,070	1,150	1,400	1,700
		4m以上5m未満	550	1,000	1,200	1,240	1,450	—	1,480	1,600	1,950	2,350
		5m以上6m未満	650	900	1,250	1,500	1,800	—	1,830	1,970	2,390	2,630
		6m以上7m未満	750	1,050	1,450	1,700	2,000	—	2,040	2,200	2,670	2,940
		7m以上8m未満	1,000	1,400	1,900	2,250	2,650	—	2,700	2,910	3,540	3,720
		8m以上9m未満	1,300	1,800	2,450	2,850	3,350	—	3,420	3,690	4,490	4,530
	乗用車	9m以上10m未満	1,600	2,200	3,000	3,500	4,100	—	4,180	4,510	5,480	5,530
		10m以上11m未満	1,900	2,600	3,550	4,150	4,850	—	4,940	5,330	6,480	6,540
		11m以上12m未満	2,200	3,000	4,100	4,750	5,550	—	5,660	6,110	7,430	7,500
		12m以上 1m増すごとに	300	400	550	620	650	—	660	710	860	860
		3m未満										
		3m以上4m未満										

(単位:円)

(単位:円)

② 不定期航路

旅 客	運賃(大人)	(単位:円)					
		年月日	S53.7.8	S55.7.11	H元.4.1	H4.4.1	R1.10.1
客	運賃(大人)	区分	600	800	820	1,000	1,500
		大人	300	400	410	500	750
		小児					

③ よりみちクルーズ船

旅 客	運賃(大人)	(単位:円)		
		年月日	H23.3.10	R1.10.1
客	運賃(大人)	区分	500	600
		大人	250	300
		小児		

※令和5年4月1日付で事業廃止

(よりみちクルーズ船航路車両運賃)

旅 客	運賃(大人)	(単位:円)			
		年月日	H23.3.10	H26.4.1	R1.10.1
客	運賃(大人)	区分	1,170	1,220	1,480
		3m未満	1,420	1,490	1,810
		3m以上4m未満	1,830	1,940	2,360
		4m以上5m未満	2,180	2,310	2,800
		5m以上6m未満	2,390	2,540	3,080
		6m以上7m未満	3,050	3,250	3,950
		7m以上8m未満	3,770	4,030	4,900
		8m以上9m未満	4,530	4,850	5,890
		9m以上10m未満	5,290	5,670	6,890
		10m以上11m未満	6,010	6,450	7,840
		11m以上12m未満	660	710	860
		12m以上 1m増すごとに			

※令和5年4月1日付で事業廃止

令和 7 年度 船舶事業概要

発行 令和 7 年 9 月

編集 鹿児島市船舶局総務課

〒891-1419

鹿児島市桜島横山町 6 1 - 4

(TEL) 099-293-4782 (ダイヤルイン)

(FAX) 099-293-2972

(H P) [https://www.city.kagoshima.lg.jp/
sakurajima-ferry/](https://www.city.kagoshima.lg.jp/sakurajima-ferry/)

リサイクル適性の表示：紙へリサイクル可